

平成27年度

真名川ダム・九頭竜ダム
水源地域ビジョン推進委員会

平成28年3月

平成27年度の各機関の取り組み状況



	森林	水	交流	
1. 森と湖に親しむ旬間行事	森林	水	交流	1
2. 平成27年度「日帰り留学」	森林	水	交流	8
3. ダムツーリズム（九頭竜ダム・夏休みダム見学ツアー）	森林	水	交流	13
4. ダムカードの配布とダムマニア・ダムマイスターとの連携			交流	15
5. 防災パネル展		水	交流	17
6. 九頭竜ダム展示室			交流	18
7. ダム湖周辺の紅葉情報提供	森林		交流	20
8. 「水源地の森づくり」第9回植樹会	森林		交流	22
9. ダム湖の自然環境保全の取り組み	森林	水		24
10. 真名川ダム弾力的管理	森林	水		28
11. 微小粒子状物質（PM2.5）の濃度（ダム湖周辺）	森林	水		31
12. 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンHP更新状況	森林	水	交流	32
13. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり	森林		交流	33
14. 第8回もりみずカップ少年サッカー大会			交流	36
15. カヌーを使った水辺の安全教室		水	交流	37
16. 化石発掘体験	森林			38
17. 越前おおの湧水文化再生計画		水	交流	39
18. 大野市森・水保全条例	森林	水		42
19. 越前おおのエコフィールド	森林		交流	43
20. NPO法人九頭竜自然楽校	森林	水	交流	46
21. 流木の有効活用	森林		交流	47
22. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ		水	交流	48
23. ノーム自然環境教育事務所	森林	水	交流	49
新規 24. 水への恩返し Carrying Water Project		水	交流	51
平成28年度の活動について				54
真名川ダム・九頭竜ダム記念事業について				58
【参考資料】				60

水源地域活性化のための活動



1. 森と湖に親しむ旬間行事



概要

- 【目的】 国民のみなさんが森と湖に親しみ心身をリフレッシュしながら、森林やダム湖の重要性について理解を深めていただくこと。
- 【実施内容】 真名川ダム見学会（平成27年7月25日(土)）
九頭竜ダム・長野地下発電所見学会（平成27年7月26日(日)）
- 【主催】 森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会
- 【構成機関】 福井森林管理署 / 福井県 / 大野市 / 電源開発(株) / 北陸電力(株) / 関西電力(株) / 大野市漁業協同組合 / 福井河川国道事務所 / 九頭竜川ダム統管理事務所
- 【関連・協賛行事】 第7回もりみずカップ少年サッカー大会（平成27年6月20日(土)、21日(日)）
- 【事前PR】 県内を対象に新聞広告、公式ツイッター、チラシ等で事前PRを実施

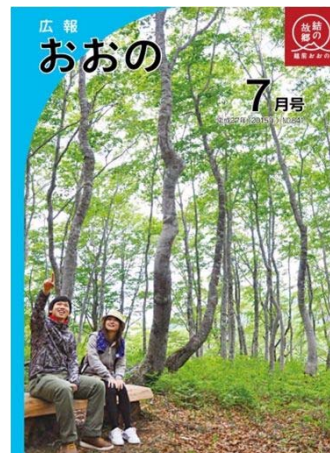


■真名川、九頭竜ダム見学会
25日午前10時～午後4時、大野市下若生子の真名川ダム管理支所、26日午前10時～午後4時、同市長野の九頭竜ダム管理支所。
ダム内の通路を歩いたり、のり面に沿って階段を下りるなどダムの姿を間近で見る。流木の配布もある。参加無料。九頭竜川ダム統管理事務所 ☎0779(66)5300。

真名川ダム・九頭竜ダム見学会（森と湖に親しむ旬間）
○真名川ダム 場所 九頭竜ダム管理支所
日時 7月25日 午前10時～午後4時 参加料 無料
場所 真名川ダム管理支所 その他 流木配布あり
○九頭竜ダム 場所 九頭竜川ダム統管理事務所 ☎66・5300
日時 7月26日 午前10時～午後4時



福井新聞：平成27年7月19日(日)朝刊



7.25(土)・26(日)
九頭竜川流域の「ダム」を見に行こう！
暑い夏にはダム見学がおススメ！ひんやりとしたダムの内部見学や工作教室、ダムの上から飛ばす水に溶ける紙ひこうきなどが楽しめます。
25(土)は真名川ダム会場、26(日)は長野発電所会場と1日ごとの開催です。詳しくはお問い合わせください。
場所/真名川ダム(大野市下若生子)・長野発電所(大野市長野)
◆問 九頭竜川ダム統管理事務所
TEL.0779-66-5300

真名川ダム見学会

【開催日】平成27年7月25日(土)

【来場者】約170人

【参加機関】福井森林管理署 / 福井県 / 北陸電力(株) / ダムマイスター / 福井河川国道事務所・九頭竜川ダム統合管理事務所



■真名川ダム会場



流木・堆肥のプレゼント



紙飛行機飛ばし(水溶紙)



クレストゲートの開扉



コンジットゲート設備見学



管理用発電設備見学



■アーチ式ダムを体感



ダムマイスター～ダムの魅力語る～
プレゼンテーション、写真の展示



管理用通路見学



ダムの大きさを体感



ダム見学記念撮影



流木工作教室

真名川ダム見学会



パネル展示（福井森林管理署）
国有林の森林保全の取り組み



パネル展示（福井県）
県が管理するダムや森林の保全



パネル展示（北陸電力）
環境保全活用



パネル展示
（福井河川国道事務所/
九頭竜川ダム統合管理事務所）

笹生川ダム見学会

【開催日】平成27年7月25日(土) 【来場者】約30人

【開催ダム】笹生川ダム(大野市)

【実施内容】ダム見学会では、ダムやゲートなどの見学、説明を行った。



笹生川ダム見学会の様子

九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

【開催日】平成27年7月26日(日)

【来場者】九頭竜ダム会場 約360名 / 長野発電所 約200名

【参加機関】大野市 / 電源開発(株) / 北陸電力(株) / 関西電力(株) / 九頭竜川ダム統合管理事務所 ほか



九頭竜ダム会場



九頭竜ダム会場
長野発電所見学会



長野発電所会場



水上視察体験 - 1



水上視察体験 - 2



にぎわう受付



模型実験の実演の様子



堤体上見学



建設機械展示・記念撮影会



地下発電所見学 - 1



地下発電所見学 - 2

九頭竜ダム見学会・長野発電所見学会

- ・ダム堤体上より九頭竜ダムのスケールや冬季連絡通路から見える荒々しい岩肌、639段の階段などを体感してもらった。その他、水上巡視体験、建設機械の展示や記念撮影会を実施した。
- ・大野市により、湧水文化再生に関する取り組み及び越前美濃街道沿線自治体の観光紹介を行った。
- ・この他、ダム湖に流れついた様々な形の流木を無料配布し、また地元業者さんの協力による流木を利用した工作教室も好評であった。



パネル展示（大野市観光振興課）

パネル展示（九頭竜川ダム統合管理事務所）



九頭竜湖の流木プレゼント



地元業者さんの協力による
流木を利用した工作教室



九頭竜ダム見学会記念撮影パネル

「森と湖に親しむ旬間」協賛行事

【協賛行事】森湖カップ少年サッカー大会(6月20・21日開催)



事務所長の祝辞



試合の様様



もりみずカップ少年サッカー大会で、激しい攻防を繰り広げるフェンテ奥越の選手達と三国の選手＝大野市奥越ふれあい公園で

FCおおの優勝 もりみずカップ少年大会

サッカー

第8回もりみずカップ少年サッカー大会(もりみずカップ実行委員会、フェンテ大野フットボールクラブ主催)が20、21の両日、大野市篠座の奥越ふれあい公園で開かれた。16チームが熱戦を繰り広げた結果、FCおおの(大野市)が優勝した。

九頭竜川水系にある市町のチームを招き、親善と技術向上を図る8人制の大会。大野、勝山、福井、坂井、岐阜県郡上の5市と永平寺町のチームが参加

し、初日は予選リーグ、最終日は決勝トーナメントで争った。

各チームとも中盤での激しいボールの奪い合いや、左右のサイドからパスを回すなど多彩な攻防を展開。選手たちは真剣な表情で力強いシュートを放ったり、鮮やかにパスを通したりして会場を盛り上げていた。

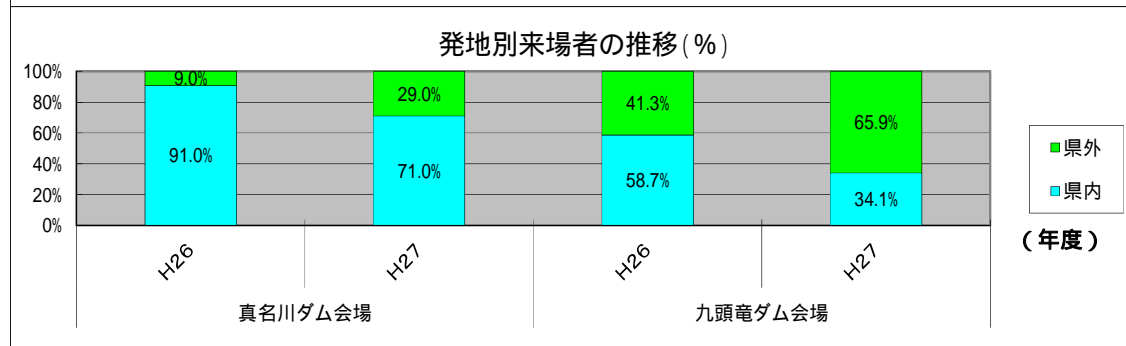
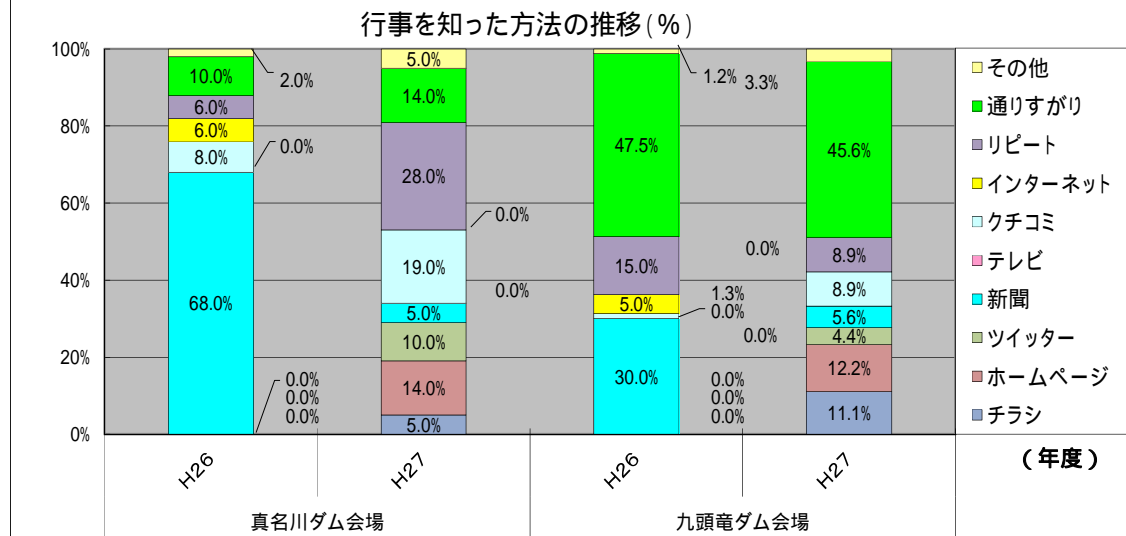
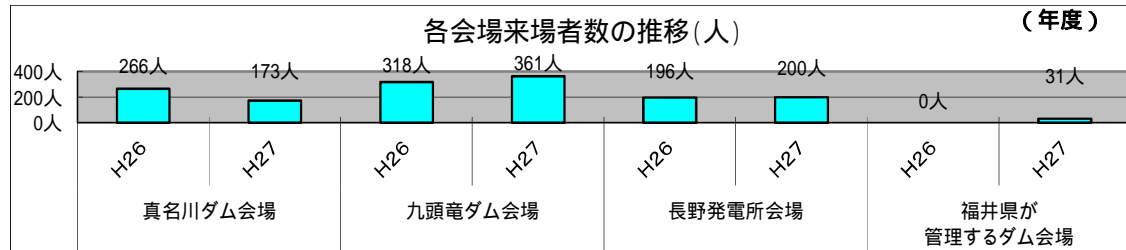
(藤井雄次)

◇上位成績 ▽もりみずカップ
①FCおおの(大野市) ②フェンテ奥越(同) ③有終南(同) ▽フェンテ父母会長杯 ①勝山SA(勝山市) ②松岡(永平寺町) ③森田(福井市)

新聞記事(中日新聞:平成27年6月22日(月)朝刊)

アンケート結果

旬間中に各見学会会場でアンケートを実施。



アンケート結果

真名川ダム会場

通リすがりの来場者は少なく、県内の見学者の占める割合が多くなっている。来場者のほとんどは、ホームページ・ツイッター・クチコミなどにより行事開催の情報を入手していることから、「流木、堆肥が欲しい」「参加したいイベントがある」など、何らかの興味や目的をもって来場していることが読みとれ、また、ひんやりした堤体内通路や噴水など夏のイベントとして喜ばれている意見が多数あった。前回初の取り組みとして同日開催をした日帰り留学(別会場)が、今回は別日にて開催となった影響もあり、来場者数は昨年比の約35%減となった。

九頭竜ダム会場・長野発電所会場

通リすがりでの来場者の割合が多い結果となった。これは県境の主要道沿いという立地的な条件によるもので、通リすがりの方で「初めて見たけど、なかなかおもしろくて、ちょくちょく見れるといいと思います。」との声があるなど、立地的な条件が、広く一般の方にダムを知っていただく効果をあげていることが確認できる。今年度の来場者数は、九頭竜ダム会場で昨年比の約14%増、長野発電所においても昨年とほぼ同数となった。

総括

アンケートの感想などからリピート率が高いことが判り、「森と湖の旬間イベント」として、ある程度定着した、森に親しめるイベントになっていることが想定される。また、来場された方がこの催しを通してダムや防災などに対する知識や意識の向上がなされているということが判る。

今後も更に、水源地域ビジョン団体との連携を強化し、イベント内容のマンネリ化、運営費用の制約、運営人員の不足などの課題を解消しながら、より多くの方に森林やダム、河川等の重要性について関心を高め、理解を深めていただく取り組みを継続して実施したい。

2.平成27年度「日帰り留学」



活動概要

日帰り留学

【趣 旨】「日帰り留学」とは、上下流地域子ども達(親子)に短期留学をしてもらい、山林・里山・田園地域での自然体験等を通して上下流地域間の交流と連携の強化、防災意識の向上を目的とした行事。

第1回

【内 容】

- ・ネイチャーゲーム:ゲーム感覚で自然とふれあう
- ・魚つかみ体験:魚をつかまえてその場で食べる
- ・川の健康診断:水の大切さ等を学ぶ
- ・ミズ水クイズ:災害、ダムの必要性を学ぶ

【開催日】平成27年8月22日(土)

【会 場】麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)

【申し込み人数】約20名



日帰り留学の案内チラシ

第2回

【内 容】

- ・川についての学習:防災や川などについてクイズ形式で学習
- ・施設見学:川や水、防災の大切さを学習
- ・遊覧船による見学:自然と海の関わりを体感

【開催日】平成27年11月7日(土)

【会 場】九頭竜川下流域(九頭竜川流域防災センター、九頭竜川河口付近)

【申し込み人数】約10名



「日帰り留学(第1回)」麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)会場

【開催日】平成27年8月22日(土)

【参加者】約20名

【開催場所】麻那姫湖青少年旅行村(中島公園)

【参加団体】大野市漁業協同組合/九頭竜川ダム統合管理事務所



《ネーチャーゲーム》自然の中に隠れた色々なものを五感で感じ自然と触れ合いました。

《魚つかみ体験》清流に泳ぐ魚を追いかけたりすることで水中での歩きにくさ等を体験しました。



《川の健康診断》川の生物を採取して、川の水がきれいかを調べました。

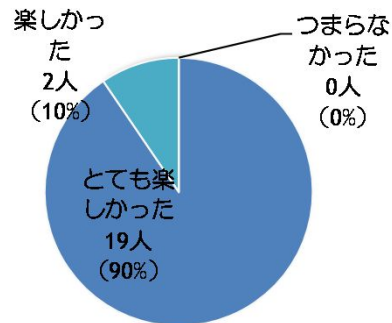
《ミズ水クイズ》天然の木を切ってコースターを作りました。

アンケート結果

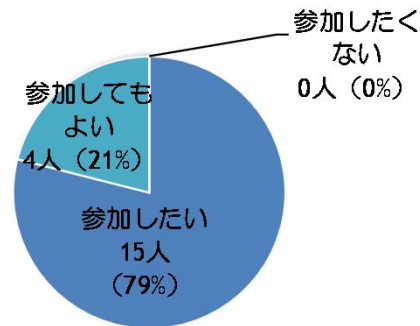
日帰り留学(第1回)参加者へのアンケート結果

	子供	保護者	合計
当日参加者数	13名	9名	22名
アンケート回答数	13名	8名	21名

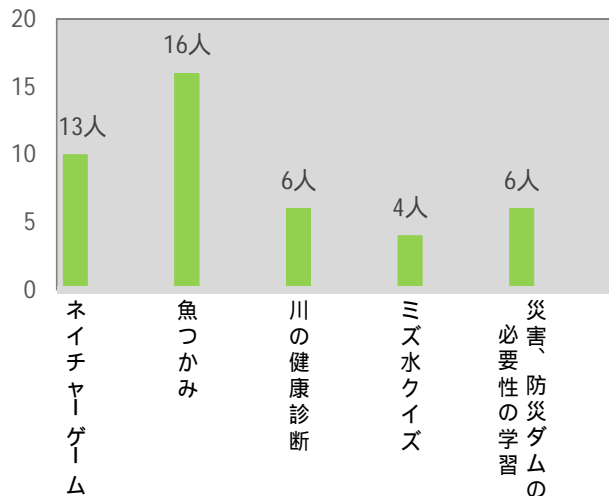
日帰り留学に参加してみてもうどうでしたか？



日帰り留学に参加してみてもうどうでしたか？



とても楽しかった または楽しかった人は次のどれがよかったですか？



複数回答あり

1位	魚つかみ
2位	ネイチャーゲーム
3位	川の健康診断
	災害、防災ダムの必要性の学習

総括

自然と触れ合う機会の少なくなった昨今において、今回の日帰り留学でのさまざまな自然体験は、「魚つかみがとても楽しかった。もう一度したい。」「川の名前を学んだ。」など、参加した子ども達にとって普段の生活では味わうことの出来ない貴重な体験となり楽しい思い出になった。また機会があれば参加したい、「魚つり」「木のぼり」「水遊び・川泳ぎ」など、もっといろいろな自然体験をしてみたいとの意見が多くあった。

- 災害、防災・ダムの必要性について学習して
- ・ ダムや川・水の大切さについて改めて学ぶとともに、防災の大切さを再認識できたという感想が多かった。

昨年に続き今回の日帰り留学も、全般的に非常に好評であった。普段なかなか体験することの出来ない自然体験を通しての交流は、貴重な連携強化の促進ならびに人材育成の場となった。

今回いただいた貴重な意見を活かし、今後も更に多くの方に参加していただける取り組みを継続して実施していきたい。

「日帰り留学(第2回)」九頭竜川下流域(九頭竜川流域防災センター、九頭竜河口付近)会場

【開催日】平成27年11月7日(土)

【参加者】約10名

【開催場所】九頭竜川下流域(九頭竜川流域防災センター、九頭竜河口付近)

【参加団体】九頭竜川ダム統合管理事務所



《施設見学》鳴鹿大堰の構造や機能・役割、九頭竜川の治水・利用・環境及び歴史等について、見て・触れて、わかりやすい展示や説明などで体験的に学びました。

《遊覧船による見学》船上から九頭竜川河口付近や河口右岸に建設され、「防波堤」に「導流堤」の機能を兼ね備えた三国港突堤(通称：エッセル堤)や東尋坊などを間近で見学しました。船上から眺める景色は絶景でした。

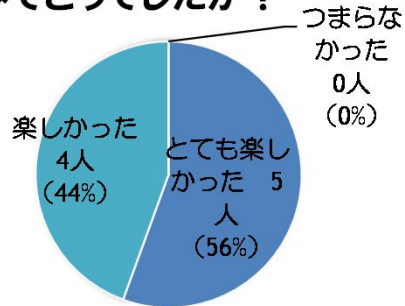
《川についての学習》一日を通して自分の目で直接見て学んだ内容や展示パネルをヒントにクイズ形式で、防災や川などについて学びました。サンゴに参加した子供たち全員に修了証書をお渡ししました。

アンケート結果

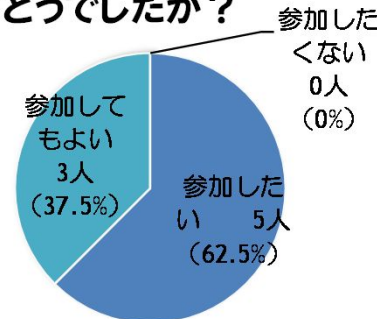
日帰り留学(第2回)参加者へのアンケート結果

	子供	保護者	合計
当日参加者数	7名	2名	9名
アンケート回答数	7名	2名	9名

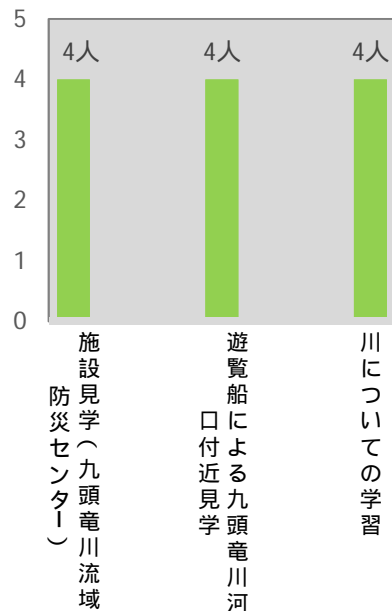
日帰り留学に参加してみてもうでしたか？



日帰り留学に参加してみてもうでしたか？



とても楽しかった または楽しかった人は次のどれがよかったですか？



複数回答あり

1位	施設見学(九頭竜川流域防災センター)
	遊覧船による九頭竜川河口付近見学
	川についての学習

総括

自然と触れ合う機会の少なくなった昨今において、今回の日帰り留学でのさまざまな自然体験は参加した子ども達にとって普段の生活では味わうことの出来ない貴重な体験となったようで、参加者の約6割が「楽しかった」約4割が「とても楽しかった」と回答されるとともに、回答していただいた人の約6割が「また機会があれば参加したい」約4割が「参加してもよい」との回答で、さらに「星空観察」「釣り」など、もっといろんな自然体験を試してみたいとの声が多くあった。

今回の日帰り留学も、参加者こそ少なかったものの全般的に非常に好評だった。普段なかなか体験することの出来ない自然体験を通しての交流は、貴重な連携強化の促進ならびに人材育成の場となった。

今回いただいた貴重な意見を活かし、今後も更に多くの方に参加していただける取り組みを継続して実施していきたい。

3. ダムツーリズム(九頭竜ダム・夏休みダム見学ツアー)



概要

九頭竜ダムは夏に地元前坂キャンプ場と共同で、大野市旧和泉村地区を巡る民間バスツアーのルートに組み込まれた。

地域の観光資源の一つとしてダムの活用が図れたことは有意義であり、今後の水源地の活性化にも一役買える管理を実践してゆく。

主催

特定非営利活動法人
こども自然体験塾

実施内容

親子でドラゴンカヌー & 化石発掘体験
九頭竜ダム見学
サマーキャンプ(こども自然体験塾)等

実施状況

H25年度
旅行会社名:カッコウツアー
参加人員等:計3回 82人
H26年度
旅行会社名:(株)JTN
(参加者不足で中止)
H27年度
未実施

福井県 大野 日帰り
炭火焼きバーベキューランチ付き!
親子でドラゴンカヌー & 化石発掘体験

日帰り旅行代金(おひとり) 税別
無印出発日 印刷出発日
6,980円 7,280円
5,980円 6,280円

行程 各地出発・大野(化石発掘体験)→前坂キャンプ場(バーベキューランチ)→九頭竜ダム(見学)→九頭竜湖(ドラゴンカヌー体験)→各地到着(18:30~18:50)

コース番号	発着地(出発時間)	出発日
340800-S	名古屋(8:00)	7月24・31 8月3・8・11・17・21・24
340816-S	一社(8:00)	7月27 8月4
340837-S	一宮(8:20)	7月28 8月10

※大野市を満喫!九頭竜湖でドラゴンカヌー体験
★世紀の大発見!わくわく化石発掘体験!
★歴史は家族でワイワイ!炭火焼きバーベキューランチ!
★九頭竜ダムを見学しよう!
※ドラゴンカヌーは約20名乗りになります。
※採取した化石はお一人2~3個お持ち帰りできます。

H26親子でドラゴンカヌー & 化石発掘体験 パンフ

小学生対象 バスツアー 主催 NPO法人 こども自然体験塾
さあ!夏休みは子ども達だけで
サマーキャンプに出かけよう!!
海へ! 山へ! 川へ!

お子様だけの参加でも
安心!安全! こども自然体験塾のサポート体制

集合時から解散時まで、お子様8~10人の割り合いで、インストラクターが1名引率し、責任を持って子ども達の大冒険をサポートします!!

安心1 健康管理の徹底 安心2 プロの技術で大冒険をサポート 安心3 入水プログラムは、参加者全員「ライフジャケット」を着用! 安心4 バスの行き帰りも安全管理の徹底 安心5 宿泊ツアーでは夜も万全の体制

H26サマーキャンプパンフ(子供自然体験塾)

小学生対象 児童教育事業 主催 特定非営利活動法人 こども自然体験塾
2014年 夏休み 保存版 さあ!子ども達だけで **サマーキャンプ**に出かけよう!!
子ども達に笑顔を!!

夏休み自然体験教室 参加会員募集のご案内
特定非営利活動法人 こども自然体験塾
とは、日本の山村・漁村の豊かな自然環境を活用した自然体験教育事業を推進し、もって子ども達の健全育成及び豊かな自然環境の保全並びに、山村・漁村の地域振興に寄与することを目的としています。

兄弟姉妹 500円
同時参加 1,000円
2人目以降

海へ!山へ!川へ!日帰りや宿泊などいろいろなプログラムをご用意しました!!

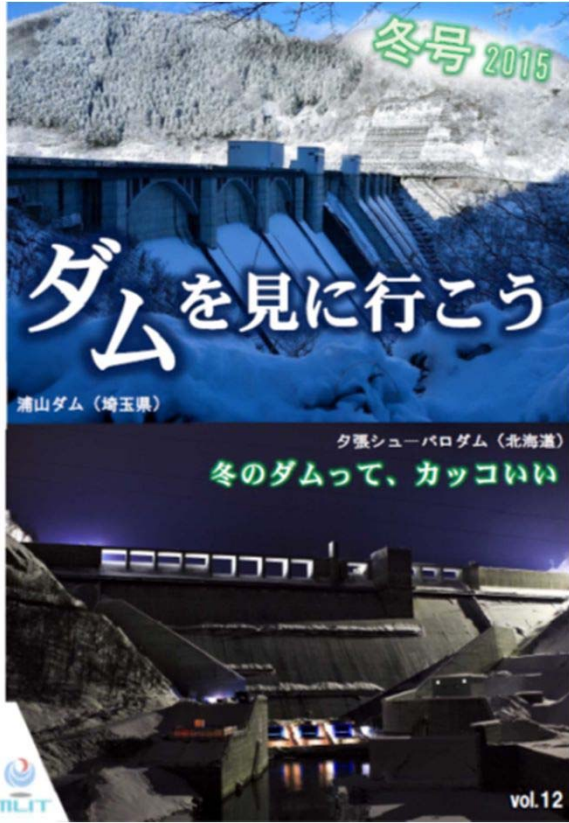
「南信州の清らかな川で魚を楽しくもうよ!」
ちびっこリバーレッキング & 魚のつかみ取り体験
7,980円

「映画のロケ地にもなるよ!」
エメラルドな田舎白浜で シューケリング&海あそび体験!!
7,980円

「海の人気者とふれあおう!」
イルカアドベンチャー in日間賀島 1泊2日
19,980円

ダムツーリズムの推進状況（国土交通省HP）

国土交通省では、民間ツアー会社と連携してダムツアーを実施している。ダムとその周辺地域の環境を活用し、地域と連携してダムの観光資源としての活用を図っている。また、ダムの工事現場も活用して完成前から観光資源としての効用を発現できるようダムのツーリズムを推進している。



Vol.1 2 「ダムを見に行こう（冬号2015）H27.12発刊



Vol.1 1 「ダムを見に行こう（秋号2015）H27.10発刊



Vol.1 0 「ダムを見に行こう（夏特集2015）H27.7発刊



都道府県	ダム名	開催時期	主催者	イベント内容	HPアドレス
北海道	鶴田ダム	平成27年12月10日	国土交通省 国土院 国土院観光課	2015年12月10日(土) 10:00~16:00 鶴田ダム再開発事業「浮体式仮締切」の完成を記念して、ダム湖周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
北海道	桂川ダム	平成28年1月20日~21日	国土院観光課	桂川ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	浦山ダム	平成28年2月28日	国土院観光課	浦山ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	浅瀬石川ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	浅瀬石川ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	上飯ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	上飯ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	野村ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	野村ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	宮ヶ瀬ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	宮ヶ瀬ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	三峯ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	三峯ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	浦山ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	浦山ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	桂川ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	桂川ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/

都道府県	ダム名	開催時期	主催者	イベント内容	HPアドレス
北海道	鶴田ダム	平成27年12月10日~14日	国土院観光課	鶴田ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
北海道	桂川ダム	平成27年12月10日~14日	国土院観光課	桂川ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	浦山ダム	平成28年2月28日	国土院観光課	浦山ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	浅瀬石川ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	浅瀬石川ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	上飯ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	上飯ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	野村ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	野村ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	宮ヶ瀬ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	宮ヶ瀬ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	三峯ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	三峯ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	浦山ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	浦山ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/
東京都	桂川ダム	平成28年3月11日	国土院観光課	桂川ダム周辺の自然環境を体験できるイベントを開催します。	http://www.mlit.go.jp/dam/

~ダム周辺でのイベント一覧~

4. ダムカードの配布とダムマニア・ダムマイスターとの連携



ダムカードの配布

ダムのことをより知っていただくため、全国の国土交通省や水資源機構などが管理しているダムで、統一規格のカードを配布している。

平成19年度の「森と湖に親しむ旬間」より、全国111のダムで配布開始
ダムや周辺施設のみで配布

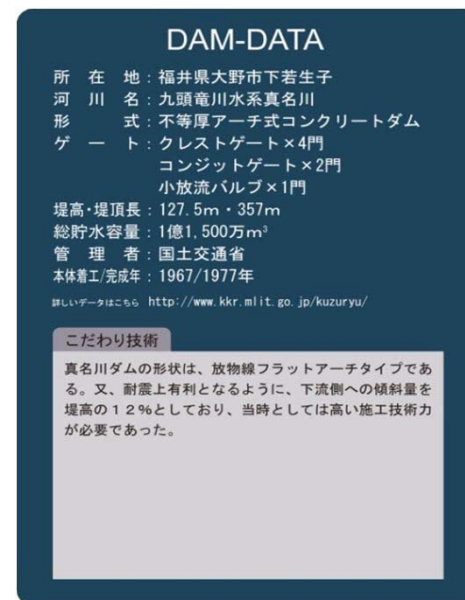
全国统一規格(カードの大きさ、掲載項目など)で基本的な情報からマニアックな情報まで掲載 (サイズ:縦6.3cm×横8.8cm)
九頭竜川ダム統合管理事務所ホームページにて配布案内



ダムカード表面 (真名川ダム)



ダムカード表面 (九頭竜ダム)



ダムカード裏面 (真名川ダム)

真名川ダム・九頭竜ダムでの配布状況

(平成27年1月～平成27年12月末現在)

	真名川ダム	九頭竜ダム
配布場所	真名川ダム管理支所	九頭竜ダム管理支所
配布時間	9:00～17:00(土・日・祝日含む)	9:00～17:00(土・日・祝日含む)
平成27年配布枚数	1610枚 累計:9,877枚	6837枚 累計:25,362枚

ダムマニア・ダムマイスターとの連携

【ダムマニアとは】

ダムが好きで、各地のダムを見て歩いたり、知識や写真等を収集する事を趣味とする人々
インターネットやイベントを通じて交流
近年、メディアでも話題に

【ダムマイスターとは】

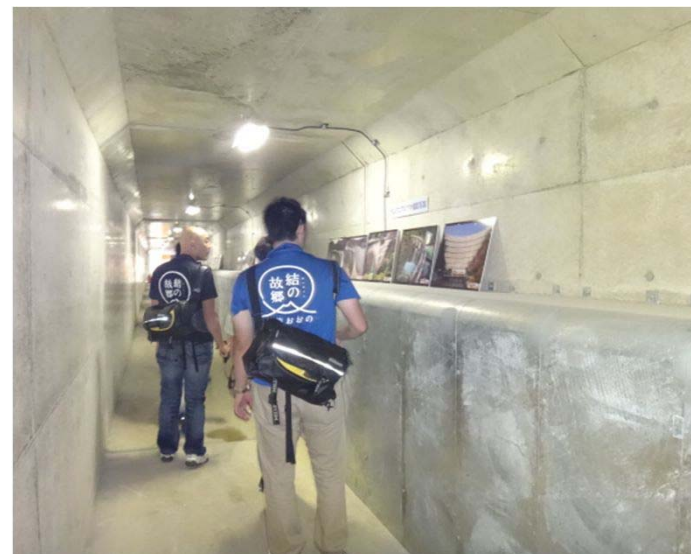
広く一般の方々に、ダムの実態、役割、魅力などについて知っていただくことの重要性に鑑み、
それを支援する役割を持つボランティアとして「財団法人日本ダム協会ダムマイスター」として任命された方々

【ダムマニア・ダムマイスターとの連携】

森と湖に親しむ旬間(平成27年7月)で、「ダムマニア・ダムマイスター」の方々により、ダムの魅力を再認識
してもらうように、パネル及び写真で説明、紹介
ダムマニアの方々が作成したオリジナルのダムカードを展示(九頭竜ダム管理支所)



ダムマイスターの方々によるプレゼンテーション
(森と湖に親しむ旬間 真名川ダム会場)



堤体内通路でのダムマニア撮影写真の展示
(森と湖に親しむ旬間 真名川ダム会場)

5. 防災パネル展



概要

- ・真名川ダム建設の契機となった昭和40年9月の奥越豪雨から今年で50年の節目にあたることから、防災パネル展等を開催。
- ・東日本大震災での教訓をもとに国土交通省の取り組みやテックフォースの活動状況、伊勢湾台風・奥越豪雨の被災状況のパネル展示を行った。(大野市と九頭竜川ダム統合管理事務所が協働で開催)
- ・奥越豪雨当時の状況や、東日本大震災及び平成27年9月に発生した関東・東北豪雨による被害と国土交通省の対応状況について紹介した。(大野市と福井市で開催)

大野市役所

平成27年2月28日～3月24日



福井市会場(エルパ:福井市大和田)

平成27年9月18日～9月23日



大野市会場(ヴィオ:大野市鋸掛)

平成27年10月23日～10月28日



6. 九頭竜ダム展示室

概要

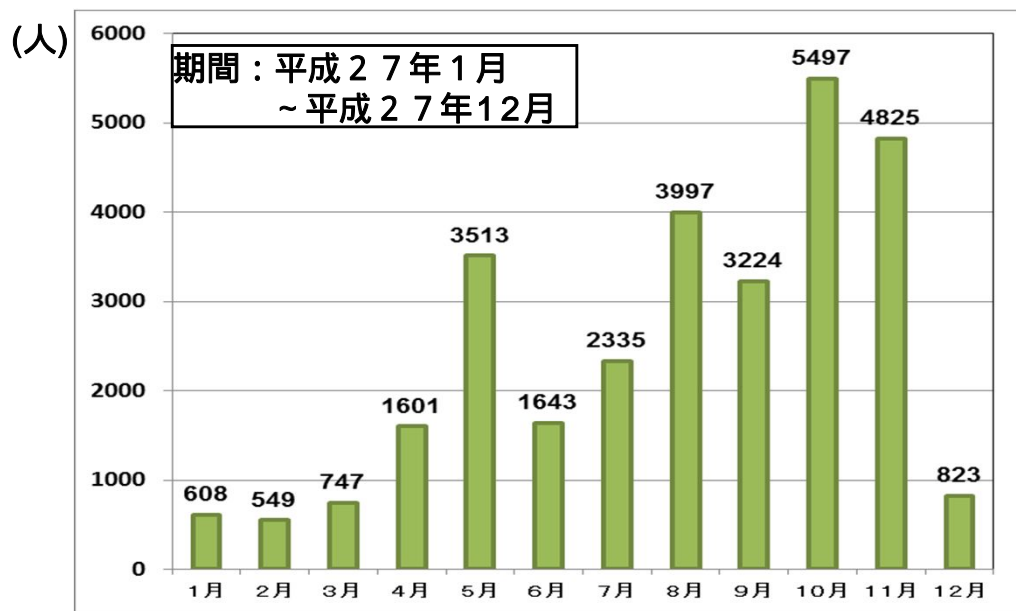
平成19年4月より、ダムの役割や状況など、ダムに関する展示を行っている。

【場所】 九頭竜ダム堤体右岸ダムサイトの九頭竜ダム管理支所 1F

【開館時間】 9:30～16:30
(平日・休日を問わず開館)

【九頭竜ダム展示室 入場者数 (平成27年度)】
集計期間:平成27年1月～27年12月(365日)
入場者数:延べ29,362人
月平均:約2445人 日平均:約80人

九頭竜ダム展示室 月別入場者数



九頭竜ダム展示室 位置図



年間の入場者数の推移をみると、12月～3月の冬季の入場者数は少なく、4月から11月までが主に利用される期間となっている。特にゴールデンウィークがある5月、夏休み中の8月、紅葉シーズンである10～11月に入場者数が多い。

展示内容

九頭竜ダム：九頭竜ダム貯水池の航空写真と九頭竜湖についてのパネルを展示

地域情報：九頭竜ダムがある大野市を紹介するパネルを展示

災害情報：福井豪雨などでの被害状況の写真等を展示

九頭竜ダムでの発電：九頭竜ダムと九頭竜川水系で行われている発電について展示

日本全国のダム写真カード：ダムマニアの方々が作成し提供していただいた、日本全国のダムマニアカードを展示

ビデオ上映：九頭竜ダムを建設した様子についてのビデオ(約25分)を上映

流木アート：九頭竜ダムに流れてきた流木を用いて作られた流木による様々なアートを展示



展示室入り口



九頭竜ダムコーナー



地域情報コーナー



災害情報コーナー



発電についての展示



ダム写真カードコーナー



ビデオ上映



流木アートコーナー

7. ダム湖周辺の紅葉情報提供



概要

真名川ダム(麻那姫湖)、九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺の紅葉の状況を、ダム管理支所職員がダム湖等を巡視した際に写真を撮り、『紅葉情報』として毎週ホームページに掲載し、ダム湖周辺への紅葉見物を予定している観光客に情報提供するもので、昨年に引き続いて実施。

【期間】 平成27年10月5日(月)～11月16日(月)

【URL】 九頭竜川ダム統合管理事務所

<http://www.kkr.mlit.go.jp/kuzuryu>

真名川ダム(麻那姫湖)周辺



真名川ダム周辺の紅葉情報(2015年度版)をお届けいたします。
 平成27年10月19日現在
 みなさんこんにちは。
 今シーズン第3回目の真名川ダム周辺の紅葉情報をお伝えします。
 麻那姫湖(真名川ダム湖)周辺では昨年より一週間ほど早く紅葉が見頃となりました。
 今年は昨年と比べて天候に恵まれ、このコーナーの写真撮影日を悩まなくて助かります。
 現在、真名川ダム周辺及び上流部で様々な工事が行われており、国道157号を工事車両が多く通行していますので、お立ち寄りの際は安全には十分、ご注意ください。

調査地点	調査日							色の説明
	10月5日	10月13日	10月19日	10月26日	11月4日	11月10日	11月16日	
真名川ダム周辺	一部紅葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	一部紅葉	全落葉	青葉
麻那姫湖中流部(若生子大橋)	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉
麻那姫湖上流部	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉
中島公園周辺	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉
雲川・笹生川	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉	青葉



真名川ダム周辺(下流部)



雲川(国管理区間上流端)



真名川ダム周辺の調査地点の位置図

九頭竜ダム(九頭竜湖)周辺

今週のおすすめ

九頭竜湖周辺で見かけた、おすすめの写真を紹介。シーズン終盤になると、このクリスマスツリーみたいな紅葉が綺麗に色づきます。今年は少し早いですが、ココも見頃になりました。撮影場所を知りたい！という方は、九頭竜ダム管理支所に掲示してありますので見にきて下さいね。



九頭竜ダム周辺の調査地点の位置図

調査地点	調査日						
	10月7日	10月13日	10月19日	10月26日	11月4日	11月10日	11月16日
九頭竜ダム周辺	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	一部紅葉	全落葉
九頭竜湖中流部	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	一部紅葉	全落葉
箱ヶ瀬橋付近	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	一部紅葉	全落葉
九頭竜湖上流部	青葉	一部紅葉	見頃	見頃	見頃	一部紅葉	全落葉

色	色の説明
青	青葉
オレンジ	一部紅葉
赤	見頃
黄緑	一部落葉
灰	全落葉



下半原(ダム左岸側からダム右岸側を撮影)



ダムサイト(影路艇庫への市道より撮影)



貯水池
(管理支所から貯水池(ダム上流)を撮影)



箱ヶ瀬橋下流(箱ヶ瀬橋上から下流側を撮影)



ダム全景
(ダム下流側国道沿い展望台より撮影)



大谷付近(大谷橋からダム左岸側を撮影)

8.『水源地の森づくり』第9回植樹会



概 要

水源林の保全・育成、森づくりの意識の向上、上下流域の人々の交流と流域連携の促進を目的として、平成18年からNPOドラゴンリバー交流会と真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会が連携して毎年行っている。

植樹用の広葉樹の苗木は、NPOドラゴンリバー交流会の会員がドングリから育てたものを使い、今回はコナラなどの苗木約300本の植樹を行った。また、今回は10周年を記念して、樹高約3mのシンボルツリーを植樹した。

なお今年の植樹では苗木の育成を促進するために、ダム湖の流木から作った堆肥を根元に、また防草のために、流木のチップを周辺に施した。

【開催日】平成27年10月27日(火)

【会 場】真名川ダム上流の笹生川沿い

【主 催】真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン推進委員会

【参加者】NPOドラゴンリバー交流会、

近畿中国森林管理局福井森林管理署、

九頭竜森林組合、電源開発(株)、

福井県奥越農林総合事務所、

福井県奥越土木事務所、

真名川土地改良区連合、北陸電力(株)、

大野市、近畿地方整備局、

九頭竜川ダム統合管理事務所ほか 計14団体、54名



■植樹会の参加者

植樹会の様子



植樹の説明



シンボルツリーの植樹



ダム湖の流木から作った肥料を使用



植樹会の様子

9. ダム湖の自然環境保全の取り組み



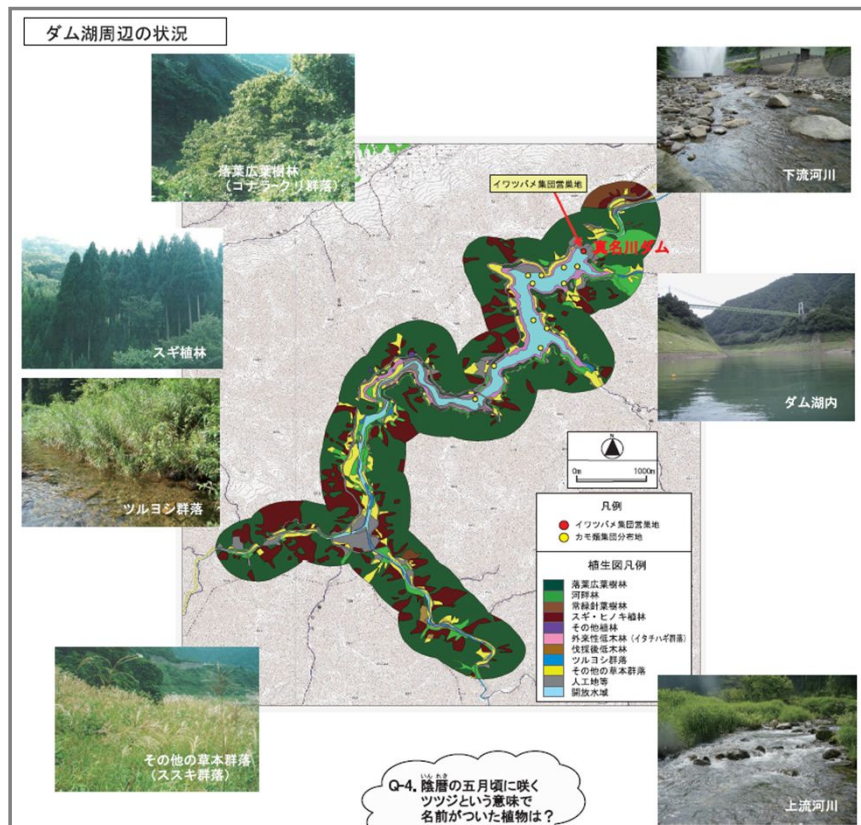
真名川ダム・九頭竜ダムの環境マップ配布

【概要】 ダム湖周辺の自然環境をより楽しんでもらうために、現在生息している魚、昆虫、鳥、動物、植物などの自然環境を分かりやすく紹介したポケットサイズのマップを、平成21年4月にダム湖別に作成し、真名川ダム、九頭竜ダムのそれぞれの管理支所にて配布している。

【概観】 サイズ:縦10cm×横20cm / 屏風折 全12ページで構成

【配布状況】 ダム見学に来られた方及び森と湖に親しむ旬間行事ダム見学会、九頭竜新緑まつり・紅葉まつりで配布

【掲載例】



真名川ダム環境マップのマップ面



九頭竜ダム環境マップの底生動物、魚類のページ例

九頭竜ダム湖の外来生物対策

【カワウ対策】

カワウの繁殖により、九頭竜ダム湖でも営巣地では樹木の枯死が発生している。また、九頭竜ダム湖の魚類ばかりでなく、福井県奥越地方や岐阜県飛騨地方などでも、アユ、ウグイ、フナ等の漁業被害が広がっていると言われている。

カワウによるアユ等の放流魚の食害に苦しむ奥越漁業組合の要請と「大野市鳥獣被害防止計画」に基づき、平成24年6月に福井県猟友会和泉支部が、九頭竜ダム湖河畔の大規模コロニーのカワウに対し「個体調整」を実施し、2回で合計172羽の個体調整を実施した。なお、卵と雛は調整の対象外とした。その結果、平成25年度は小規模コロニーへと変わり、個体数も減少した。

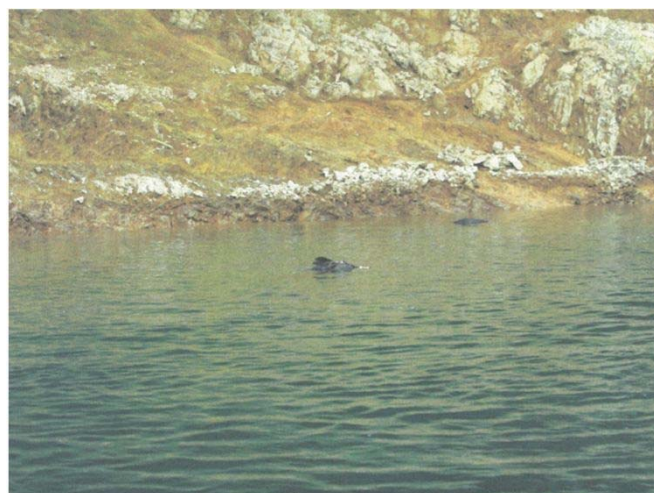
平成27年度は5月から11月に20回の駆除を行い、合計184羽の個体調整を実施した。



カワウのフンの影響による樹木の枯死が発生



カワウの営巣



駆除作業の様子



九頭竜ダム湖の外来生物対策

【コクチバス対策】

平成19年度に「河川水辺の国勢調査」の一環として魚類調査を行った際、九頭竜ダム湖内で特定外来種のコクチバス2個体を捕獲確認。コクチバスは繁殖能力が高く、駆除せずに放置した場合、ダム湖の在来魚種等に大きな影響を与える恐れがあると考えられるため、平成21年度より調査を実施している。

今回の活動は奥越漁業協同組合をはじめ、福井県自然環境課・自然保護センター・水産課・内水面総合センター・電源開発・大野市と協働した、外来魚（コクチバス）一斉駆除活動で、総勢49名（うち職員11名）で行った。

開催日時:平成27年6月4日(木)～5日(金)
実施場所:福井県大野市長野（九頭竜ダム）

駆除方法 刺し網
竿釣り
産卵床の破壊



コクチバスの親魚



勉強会での説明



刺し網



竿釣り



九頭竜ダム湖の外来生物対策

【コクチバス対策 結果】

今回の活動では、刺し網を設置したり、竿で釣り上げたりして、初日で28匹、翌日は42匹、2日間で70匹の捕獲に成功した。

また、今は産卵の時期でもあり、コクチバスが石を集めて作る産卵床の破壊も行った。

15 記者レポート

大野 年々増加の九頭竜湖

刺し網などのトッブを設置したり、さお釣りをしたりしてコクチバスを捕獲し、今年も産卵の時期でもあり、産卵床の破壊も行った。この回の駆除で、計10匹を捕獲した。

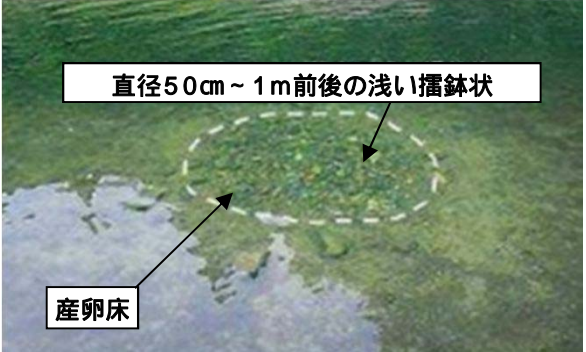
外来魚 コクチバス

全国的に湖沼や河川での増加が指摘されている外来魚。特に、コクチバスは、湖沼や河川での増加が顕著で、近年コクチバスの生息域が広がっている。大野市の九頭竜湖でも、コクチバスの増加が確認されている。コクチバスは、産卵床を作る習性があり、石を集めて作る産卵床を破壊する。また、刺し網を設置したり、さお釣りをしたりして捕獲する。今年も産卵の時期でもあり、産卵床の破壊も行った。この回の駆除で、計10匹を捕獲した。

駆除へ国、県とも連携

大野市では、コクチバスを巡る別問題もある。産卵床の破壊や、刺し網の設置など、駆除活動が活発化している。大野市では、コクチバスを巡る別問題もある。産卵床の破壊や、刺し網の設置など、駆除活動が活発化している。

毎日新聞 27/6/8(月)掲載



駆除対象魚の特徴・習性



陸上からの駆除状況

小型ボートによる駆除状況

10. 真名川ダム弾力的管理



概要

真名川ダム弾力的管理として、洪水調節容量の一部に貯留した容量を活用して、ダム下流の河川環境の保全・改善を目指して放流試験を平成15年度より実施している。
 実施に際しては、「真名川ダム弾力的管理検討委員会」に諮り、ご意見・ご指導をいただいている。

これまでの実施状況と今後の予定

		実施時期	実施日	ダム放流量のピーク流量	置土			自然再生試験
					置土量	材料	場所	
試験	これまでの実績	夏期	H15.9.30	25m ³ /s	—	—	—	—
		秋期	H16.11.15	45m ³ /s	約220m ³	貯水池上流の堆積土	八千代橋上流 約0.5km(左岸)	—
		夏期	H17.8.2	25m ³ /s	—	—	—	—
		冬期	H17.12.8	40m ³ /s	約200m ³	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約0.6km(左岸)	—
		秋期	H18.11.15	45m ³ /s	約200m ³	貯水池上流の堆積土	君ヶ代橋上流 約0.8km(左岸)	—
		秋期	H19.11.8	45m ³ /s	約330m ³ +約 650m ³	貯水池上流の堆積土 +河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	新水路の創出
		秋期	H20.11.18	45m ³ /s	約100m ³	河川敷の掘削土	君ヶ代橋上流 約1km(左岸)	旧河道の再生
		春期	H22.4.14	70m ³ /s	約140m ³	河川敷の掘削土	八千代橋上流 約1.5km(左岸)	ワンド(緩流域)の 創造
	自然出水再現放流(弾力放流)	融雪期	H23.4下旬~ H23.5	136m ³ /s	約280m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	エコトーンの 創造
		夏期	H23.9.21	365m ³ /s(自然出水)	—	—	—	—
		融雪期	H24.4	50m ³ /sにカットして 放流	約360m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし
		夏期	H24.9.18	230m ³ /s(自然出水)	—	—	—	—
		融雪期	H25.4	最大約30m ³ /s放流 (融雪出水)	約320m ³	貯水池上流の堆積土	置土ステーション (八千代橋上流)	水際のほぐし
		夏期	H25.7.30	213m ³ /s(自然出水)	—	—	—	—
		夏期	H25.9.16	320m ³ /s(自然出水)	—	—	—	—
本格運用	融雪期	H26.3下旬~ H26.4月上旬	132m ³ /s	—	—	—	—	
	夏期	H26.8.10	407m ³ /s(自然出水)	—	—	—	—	
	融雪期	H27.4.5	198m ³ /s(弾力放流)	—	—	—	—	

↓ 本格運用へ移行

平成
27
年度

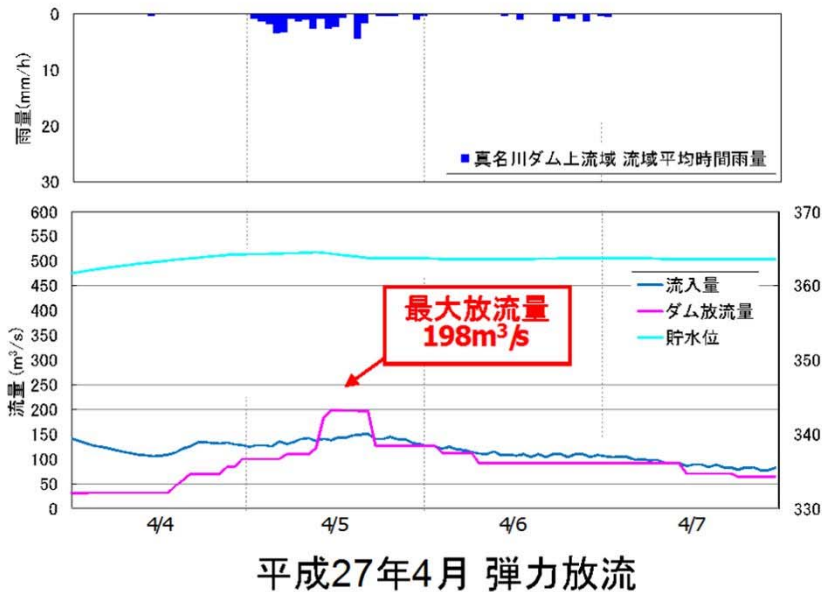
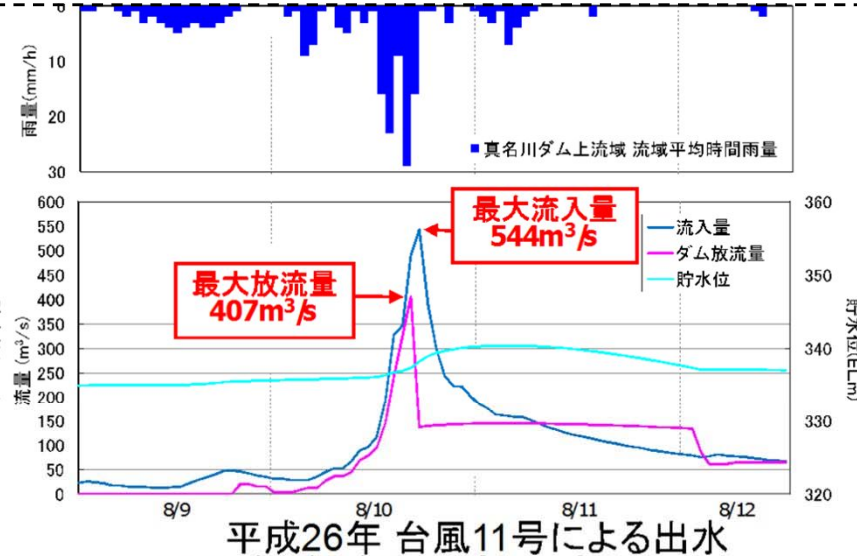
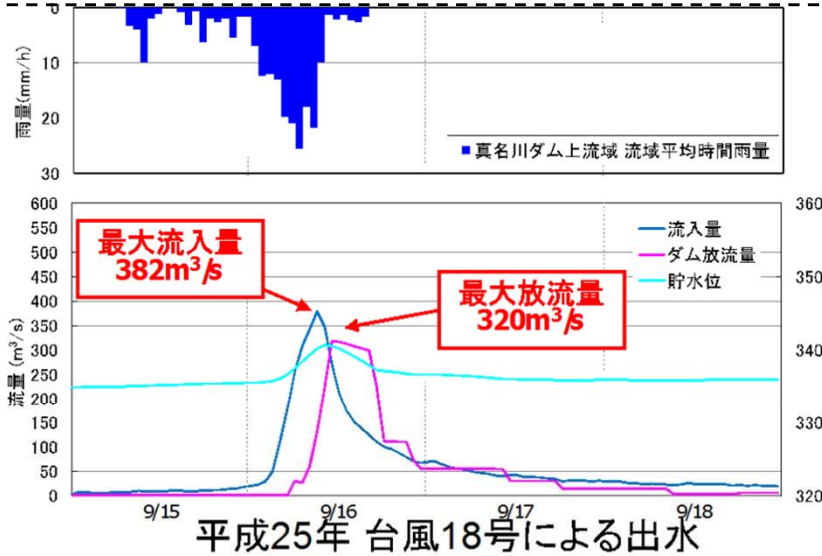
平成
28
年度

2

平成27年度の実施結果

【近年の自然出水の状況】

- 平成26年に既往第2位、平成25年に既往第5位の放流量(いずれも台風による)を記録した。
- 平成27年4月には、目標流量200m³/sを6時間放流する、弾力放流を実施。



歴代ダム放流量のピーク流量順位
(真名川ダム完成以降)

順位	発生年月日	ダム放流量 (m ³ /s)	流入量 (m ³ /s)	備考
1	H1.9.7	464	404 (536)	秋雨前線
2	H26.8.10	407	544	台風11号
3	H23.9.21	365	428	台風15号
4	H10.9.22	344	469	台風7号
5	H25.9.16	320	379	台風18号

弾力放流による地形の変化(平成27年4月 2.4k砂州)

弾力放流前(H27.3.30撮影) 撮影時のダム放流量:0.67m³/s



弾力放流中(H27.4.5撮影) 撮影時のダム放流量:約198m³/s ダム放流量ピーク流量:約198m³/s



弾力放流後(H27.4.30撮影) 撮影時のダム放流量:約23m³/s

地形変化している(河道の攪乱)



1.1 微小粒子状物質 (PM2.5) の濃度 (ダム湖周辺)



福井県の微小粒子状物質 (PM2.5) 濃度速報 (福井県衛生環境研究センター)

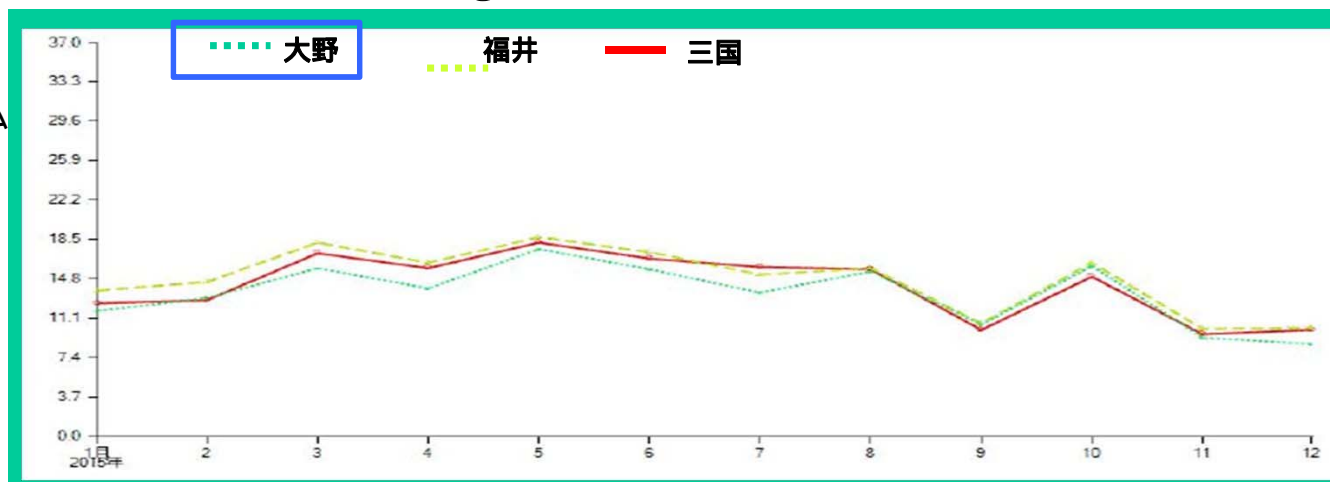
【概要】 微小粒子状物質 (PM2.5) は大気中に発生する浮遊する粉じんのうち、粒径が $2.5 \mu\text{m}$ 以下の粒子状物質のことをいう。環境基準では「1年平均値が $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること」と定められている。福井県衛生環境研究センターでは微小粒子状物質の濃度速報をHPで公開し、大気汚染が著しくなった場合には注意報等を発令している。

【測定状況】 平成27年度の真名川ダム (麻那姫湖)、九頭竜ダム (九頭竜湖) 周辺 (大野測定局) の微小粒子状物質 (PM2.5) の濃度は3・6・8月に計5日、基準値を超えた日がある。以下のグラフに月別の濃度の平均値と月間値を示す。

大気汚染測定局位置図



平成27年1～12月 経月グラフ (平均値)
微小粒子状物質 (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)



環境省報告 平成27年1月～12月 (月間値) 大野測定局 微小粒子状物質濃度

測定局	統計項目	単位	H27											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大野	有効測定日数	(日)	31	26	31	30	31	30	31	31	30	31	30	31
	年/月平均値	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	11.8	13.0	15.8	13.9	17.6	15.7	13.5	15.5	10.5	16.0	9.3	8.7
	日平均値の最高値	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	22.3	28.8	35.2	27.5	31.3	36.3	29.3	44.8	22.5	33.9	20.2	15.7
	日平均値の年間98%値	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)												
	日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数	(日)	0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0
	日平均値が $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数割合	(%)	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	3.3	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0

12. 真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンHP更新状況



【概要】

住民や各関係者等に広く水源ビジョンを認知してもらうため、ホームページ等による水源地域情報の発信、関係機関ホームページとの相互協力による情報提供の充実を進めている。 1.更新日はH28.3.17時点で確認

ホームページ	更新日	リンク先(委員会メンバー)
真名川ダム・九頭竜川ダム水源地域ビジョン	H27.10.15	大野市観光協会
		× 奥越漁業協同組合
		× 大野市漁業協同組合
		大野商工会議所
		大野青年会議所
		NPOドラゴンリバー交流会
		北陸電力福井支店
		× 電源開発株式会社九頭竜電力所
		福井市建設部
		福井県河川課
		福井県電気課
		福井県奥越農林総合事務所
		近畿中国森林管理局福井森林管理署
		近畿地方整備局河川管理課
		近畿地方整備局福井河川国道事務所
		大野市
		九頭竜川ダム統合管理事務所(地域活動団体等)
		× ピオフレズ
		大野の水を考える会
		越前大野もてなし隊
		本願清水イトヨの里(大野市HP内)
		ノーム自然環境教育事務所
		里山銀杏峰(げなんぼう)を愛する会
		大野親岳会
		大野明倫館(大野市役所)
		平成大野屋
		観光ボランティアガイド大野(大野市観光協会)
		× 自然暮らしの会
		× 和泉村ファンクラブ

委員会構成機関ホームページ	更新日
大野市観光協会	H28.3.17
九頭竜森林組合	H28.3.17
奥越漁業協同組合(内水面 奥越)	H27.4.27
大野市漁業協同組合	H28.3.17
大野商工会議所	H28.3.17
大野青年会議所	H28.3.17
OASIS協会	H24.7.9
NPO法人九頭竜自然楽校	H28.3.17
NPOドラゴンリバー交流会	H27.11.17
北陸電力福井支店	H27.10.23
電源開発株式会社九頭竜電力所	-
福井市建設部	H28.3.16
大野市教育委員会	H28.3.13
福井県河川課	H28.3.9
福井県電気課	H27.10.2
奥越土木事務所	H28.3.15
奥越農林総合事務所	H28.2.18
近畿中国森林管理局福井森林管理署	H28.3.14
近畿地方整備局福井河川国道事務所	H28.3.16
大野市	H28.3.17
九頭竜川ダム統合管理事務所	H28.2.29
九頭竜川中部漁業協同組合	H28.3.17
奥越前まんまるサイト(ノーム自然環境教育事務所)	H28.3.17

情報の提供・共有等、利用者の利便のためにも、水源地域ビジョンの情報を掲載し、リンク先を準備することが望まれる。
 なお、水源地域ビジョン推進委員会構成機関の大野市区長連合会、真名川土地改良区連合、大野市連合ふわわ女性の会のホームページはまだ準備されていない。

2.リンク先の()書きは、ビジョン関連以外でリンク先を掲載しているものを示す。
 リンク先の は接続できるもの、 は別サイトへの接続、×は接続できないものを示す。

13. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり



概要

大野市内で生産される農林水産物や特産品、旬の味覚などを提供する「食の市場」と体験型・参加型のイベントを実施することにより、文化・工芸の継承を促し、交流人口の増加と地域の活性化を図る事を目的に、毎年、春に新緑まつり、秋に紅葉まつりを開催している。

【主催】大野市/九頭竜まつり実行委員会

【共催】(一社)大野市観光協会/福井新聞社

【後援】(公社)福井県観光連盟/
JR西日本福井地域鉄道部/
NHK福井放送局/
FBC福井放送/
福井テレビ/
FM福井

【会場】九頭竜国民休養地
(大野市角野)



↑ 第36回紅葉まつりポスター

← 第29回新緑まつりポスター

第29回九頭竜新緑まつり

【日時】平成27年5月16日(土)・17日(日)

【内容】新緑ステージ、新緑市場(特産品の販売)

ウォーターダッシュ、スラックライン、化石発掘体験、フリーマーケットなど

【入込み人数】約24,500人



新緑ステージ



ウォーターダッシュ



スラックライン



フリーマーケット



新緑市場



化石発掘体験

第36回九頭竜紅葉まつり

【日 時】平成27年10月24日(土)・25日(日)

【内 容】紅葉ステージ、紅葉市場(特産品の販売)

ふるまい大鍋、トロッコ列車乗車体験、つり堀、木工工作コーナーなど

【入込み人数】約65,000人



紅葉ステージ



紅葉市場



木工工作コーナー



つり堀



ふるまい大鍋



トロッコ列車乗車体験

14. 第7回もりみずカップ少年サッカー大会



概要

平成20年に開かれた「森と湖に親しむ旬間全国大会」のメモリアルとして、九頭竜川水系のもたらす豊かな自然に親しみ、自然を愛する子どもたちの心身ともに健全な発育を図るため、九頭竜川流域の少年サッカーチームを招き、技術の向上のみならず、相互の親善を図るため開催。

【開催日】 平成27年6月20日(土)・21日(日)

【会場】 奥越ふれあい公園陸上競技場

【主催】 もりみずカップ実行委員会/
フェンテ大野フットボールクラブ

【協賛】 九頭竜川ダム統合管理事務所/大野市

【後援】 福井新聞社/越前おおの農林楽舎

参加チーム

岐阜県郡上市

白鳥サッカースポーツ少年団/

美並サッカークラブ

坂井市

三国ジュニアサッカークラブ/

春江町サッカースポーツ少年団/

鳴鹿明章サッカースポーツ少年団/

福井市

森田サッカースポーツ少年団/

エンデバー中藤フットボールクラブ/

美山フットボールクラブ

永平寺町

松岡サッカースポーツ少年団/

永平寺サッカースポーツ少年団

勝山市 勝山サッカーアカデミー

大野市

フェンテ奥越FC(準優勝)/フェンテ大野FCスポーツ少年団/

FCおおのスポーツ少年団(優勝)/

有終南サッカースポーツ少年団/和泉サッカークラブ



15. カヌーを使った水辺の安全教室



概要

B & G財団のカヌーなどの無償貸与制度を活用して、市内の小学生を対象に、プールやダム湖でカヌーを使った水辺の安全教室や、カヌー出前講座を行う。

【実施日】

平成27年7月10日(金)～9月11日(金)

計12回

【会場】

- ・九頭竜湖(下半原)・B & G海洋センタープール
- ・市内小学校

【主催】

大野市教育委員会

【内容】

着衣泳、カヤック・カナディアンカヌーの操艇など

【参加者】

延べ187人

【指導】

福井県カヌー協会・生涯学習課スポーツ振興室



着衣泳



プールでの操艇



ダム湖での操艇



カナディアンカヌー操艇



カヌーポロ体験



カヌー出前講座

16. 化石発掘体験



概要

交流人口の増加と地域の活性化を目的に、九頭竜川上流域に位置する和泉地区の地層から産出される恐竜やアンモナイト、貝類、植物などの化石を活用して、化石発掘体験を開催。

【会場】九頭竜国民休養地内(大野市角野)

【実施日】平成27年5月2日～11月1日のうち
土・日・祝日、GW・夏休み・SW期間の毎日

【主催】大野市、NPO法人九頭竜化石研究会(大野市朝日)

【内容】化石発掘体験

【入込み人数】 延べ3,734人

～太古の時代へタイムスリップ～
結の故郷化石発掘体験
事前の予約不要で体験できちゃう!
体験期間 2015年 5/2(土)～11/1(日)
体験期間中の土・日・祝に営業
スタンプラリーも開催中!!
無料駐車場完備
開催場所 / 国民宿舎パークホテル九頭竜
(大野市角野 九頭竜国民休養地内)
開催時間 / 9:00～16:30 (最終受付16:00)
(最終受付は16:30迄となります)
体験料金 / 中学生以下 500円
大人 1000円
BBQも楽しめます!
お問い合せ先 / NPO 法人九頭竜化石研究会
0779-78-2077 info@9kaseki.com
〒912-0205 福井県大野市朝日26-20-1 http://www.9kaseki.com





17. 越前おおの湧水文化再生計画

概要

古くからある湧水の再生や本市特有の湧水文化を後世へ引き継ぐことを目的とし、国・県・市などの関係機関や団体、市民や企業がそれぞれの役割を担いつつ、総合的な取組みを進めるため、平成23年度に「越前おおの湧水文化再生計画」を策定。計画に基づき、平成27年度の各施策に取り組んだ。

大野市湧水文化再生推進連絡協議会

各施策の推進状況の報告や協議などを行い、関係機関や団体の連携強化を図る。

・(第8回)平成27年10月8日開催

・(第9回)平成28年2月15日開催

第9回の協議会では、水循環基本法・水循環基本計画に基づき、流域における様々な主体が連携して施策に取り組むため、本協議会を「**大野市水循環・湧水文化再生推進連絡協議会**」と改め、水環境の保全に関し、さらに取り組むことを決定しました。

参加機関・団体

岐阜経済大学 森教授 / 京都大学 角教授 / 国土交通省近畿地方整備局福井河川国道事務所・九頭竜川ダム統合管理事務所 / 北陸農政局 / 福井県安全環境部・農林水産部・土木部・奥越農林総合事務所・奥越土木事務所 / 区長連合会 / 地下水対策審議会 / 真名川土地改良区連合 / 北陸電力(株) / 大野市

水田湛水事業

- 【面積】 28.8ha(H26年 28.1ha)
【期間】 平成27年10月1日～
平成28年2月29日(5か月間)
【場所】 木本原地区(阿難祖地頭方 他地係)



水田湛水の風景

地下水の水位観測・啓発など

【モニタリング】

地下水位観測 29か所32井戸
湧水量観測 中野清水、義景清水 2か所
地下水質検査 6月8日・9日検査 42か所

【啓発】

紅葉まつりなどの各種イベントへの出展
市報やチラシによる地下水・節水の啓発
越前おおの名水出前講座の開催
越前おおの環境塾「川の生き物を探そう！」の開催

【注意報・警報】

地下水位低下時に地下水注意報・警報を発令
平成27年は発令なし

【地下水保全基金】

市民などからの寄附金を積み立て、地下水保全対策に活用
平成27年度貯留施設整備事業・地下水保全活動助成事業に活用



春日公園観測井表示板



名水出前講座の風景



環境塾の風景

2017.12.9 福井新聞 (第3種郵便物認可) 水産



「健全な水循環」宣言

県内初 大野市会が決議

行政を支援 全国アピールへ

環境保全上、水が健全に循環し、将来にわたり恩恵を享受できるように、大野市会は8日、「健全な水循環のまち宣言」を決議した。「市健全な水循環のまち宣言」を決議した。水循環の維持や回復のための市の施策を後押しするため、5項目に取り組みたい。水循環に関する宣言は、県内の市町会では初めて。(梶田寿雄)

同市は盆地の地形で、河川の水の一部が浸透して地下水を生成するといふ水循環がなされている。名水百選の御清水」といった湧水地があり、生活には地下水を使うなど、古くから特有の水文化を形成してきた。

市は2011年度に「越前おの湧水文化再生計画」を策定、13年度に「大野市水・水保条例」を制定した。本年度から、大野の水文化を国内外に発信する「キャリング・ウォーター・プロジェクト(CWP)」を展開するなど、水に関わる施策を積極的に取り組んでいる。市会の宣言は、健全な水循環を後世に引き継ぐ

ための行政の事業をバックアップする目的。昨年の秋(仮称)結の故郷「水循環基本法」が制定されるなど、水への関心が高まっている。この日の定例会で、内容は▽CWPの推進▽各機関と連携した研究宣言文を読み上げ、全会一致で可決した。高田和行議長は「水循環基本法の制定時には国会議員が視察に来るなど、大野は水循環の取り組みの先進地。水を大切にしている」と述べた。

28.2.13 福井新聞



水環境の研究で連携

大野市と地球研(京大)が協定

全国2例目 まちづくり生かす

地球研は、地球環境問題の解決を図るための学問を研究している。大野市は、地球研との共同研究に取り組んだ。市内で川の水と井戸水を採取、分析して水質マップを作成。河川水と地下水の関係性を考察した。その後も市内の児童に家庭の水の温度を測ってもらい、その水を地球研が分析するなど、交流を続けてきた。

研究者だけでなく自治体や市民も関わり、地域の問題の解決に役立てるこうした取り組みを、今年に推進していく。今回の協定締結に至った。14年には水循環基本法が制定されたが、水循環協定書に署名を交わした。安成所長は「大野市の現場のノウハウと一緒に学びながら、持続可能な水循環の可視化に取り組んできた市では、今後、同法に基づいた独自の水循環基本計画をつくる予定。策定時に、地球研の協力を求めたいと考えた。地球研からは安成所長ら6人が出席。岡田高大市長と安成所長が調印式は市役所で行われ、地球研からは安成所長ら6人が出席。岡田高大市長と安成所長が贈られた。

18. 大野市森・水保全条例



概要

水源地域の保全に関し、市、市民、土地所有者、施設設置者の責務を明らかにするとともに、水源地域内の土地の所有権の移転等及び工作物の設置について、必要なことを定めることにより、水源地域の機能の維持に寄与することを目的として策定。

届出対象地域(水源地域)

市内全域の登記地目又は現況地目が、山林又は保安林となる地域

届出について

土地売買等の契約を行う場合

土地所有者は、土地売買等の契約を締結しようとする日の30日前までに、市長への届出が必要となります。(1契約が1,000m²以上のもの)

対象工作物の設置を行う場合

水源地域内に水質を汚染する又は水量に影響を及ぼすおそれのある営利を目的とした事業に係る施設を設置しようとする場合は設置しようとする日の30日前までに、市長への届出を行うとともに、協議が必要になります。



届出件数(平成28年1月末現在)

土地売買等の契約 10件

19. 越前おおのエコフィールド



概要

【活動概要】参加団体・企業や地域の方と一緒に、ドングリなどの苗木を育てる森林(もり)づくり活動や、自然環境教育、自然体験などの取り組みを行う。

【目的】福井営林署跡地(エコフィールド)においてドングリなどの苗木を育成し、森づくり活動に活用することにより、水源涵養、自然災害の抑制、二酸化炭素の削減等、公益的機能を持つ大野市の広大な森林を守り育てる一助にするとともに、緑化活動の啓発、自然環境教育及び自然体験等の環境保全活動を行うことを目的としている。

【管理運営】一般財団法人 越前おおの農林楽舎へ委託

越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等(31団体)

NTT西日本福井支店/九頭竜森林組合/福井新聞社/福井放送/北陸電力(株)福井支店/越前信用金庫/大野鉄工金属協同組合/大野市消防団/越前おおの森づくりネットワーク/北陸銀行大野支店/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋/タニコーテック/越前大野駅/大野市内郵便局/日本たばこ産業(株)福井営業所/大野商工会議所/森永乳業(株)北陸支店福井営業所/J-POWERグループ九頭竜/福井銀行大野支店/福邦銀行大野支店/ハニー新鮮館/九頭竜川ダム統合管理事務所/大野青年会議所/福井県奥越農林総合事務所/福井県奥越土木事務所/ブルーシー・アンド・グリーンランド財団/住友林業(株)住宅事業本部福井支店/福井グリーンパワー/大野市教育委員会/大野市/一般財団法人越前おおの農林楽舎



エコフィールド

活動状況

【ドングリの森づくり：補植作業】

日 付：平成27年7月5日(日)

参加者：越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約30人



【ドングリの里親事業】

期 間：4月中旬～10月上旬

参加者：市内小学2年生278人（市内全小学校）

市内小学1年生 8人（市内1複式学級校） 計286人



森林のはたらきについて



ドングリ種まき



エコフィールド 植替

活動状況

【どんぐりの森づくり：どんぐり拾い・植ええ・植樹】

日付：平成27年10月12日(月・祝)

参加者：越前おおのエコフィールド管理・運営協議会参加企業等 約150人



どんぐり拾い



どんぐり種まき



植樹



活動概要

NPO法人九頭竜自然楽校は、以下の三つのミッションを掲げて活動している。

- ・親子で楽しむ自然体験活動サポート
- ・アクティブシニア層の充実したセカンドライフづくりサポート
- ・地元観光情報の発信と交流促進。

九頭竜新緑・紅葉まつり

九頭竜新緑・紅葉まつりなどで流木の無料配布と木工アート教室を開催。



流木による木工アート教室「九頭竜新緑まつり」



流木による木工アート教室「九頭竜紅葉まつり」

21. 流木の有効活用



概要

- 【流木対策】 ゲート操作などの支障とならないようにダム湖に流れ込んできた流木を回収
- 【有効利用】 一般の方への流木や流木から作った堆肥等の配布
(九頭竜新緑・紅葉まつり、森と湖に親しむ旬間行事など)
流木工作教室などの開催、流木のアートの紹介

堆肥の活用：「越前おおのエコフィールド」森林(もり)づくり活動に提供
チップの活用： 防草用のマルチング材等として使用を予定



流木配布(九頭竜新緑まつり、九頭竜紅葉まつり、真名川ダム見学会、九頭竜ダム見学会)

堆肥の配布
(真名川ダム見学会)



流木アート(九頭竜新緑まつり、九頭竜紅葉まつり)

流木工作教室
(真名川ダム見学会、九頭竜ダム見学会、九頭竜新緑まつり、九頭竜紅葉まつり)

22. 真名川水辺の楽校 Bioフレンズ



概要

子供たちや地域住民が川とふれあい親しむことのできる親水活動の場、自然体験・自然学習の場、また多種多様な動植物が生息生育できる水辺空間の保全と創出を図るとともに、持続的かつ有効に活用して、利用方法、維持管理、モニタリング調査を継続的に行い、目標とする生態系を目指している。

【場 所】大野市南新在家の河川敷

【管理運営】真名川水辺の楽校 Bioフレンズ



真名川水辺の楽校施設平面図
(パンフレット2009年度版より)

【平成27年度 Bioフレンズの活動内容】

活動項目	実施日	活動内容	備考	会員人数
普及・啓発活動	6月9日 2月23日	あずまや展示変更		2名
	2月28日	イトヨの里 26 公開講座「特定外来生物の放流から環境保護を考える」	72名	1名
	7月28日	せせらぎ定点観測(竹田川)	人材派遣	1名
維持管理活動	4月14日	あずまやの修繕		1名
	5月30日	草刈	堤防、施設内	3名
	4月2日 6月9日 10月16日 2月23日	清掃作業	堤防、あずまや、施設内	延4名
	モニタリング調査	5月7日 1月6日	陸上昆虫・蜘蛛類調査	ネットィング スウィーピング

普及・啓発活動



せせらぎ定点観測



イトヨの里公開講座調査



維持管理作業



あずまやの修繕



堤防・施設の草刈り



モニタリング作業



陸上昆虫・陸上生物 モニタリング調査



活動の目的

奥越地域の自然・産業資源を通して、次世代の地域を担う人材の育成を目的としている。
また、四季を通して地域の人材・農林業・暮らしや文化を活かしたエコグリーンツーリズムを進め、訪れる方々を対象に地域の素晴らしさを体感していただく。

継続事業～水辺編～

水辺の活動(場所:九頭竜新緑まつり会場)

水辺の活動の楽しさを理解していただくためのカヌー体験を天候の安定している春や秋に実施。



- ・カヌー操作やタモ網の使い方
- ・捕獲した魚の観察と生態等の解説
- ・全員で協力しての捕獲

川の安全基礎講座(石川、福井にて開催)

川の事故を防ぐために、水流水圧を体感したり、川の構造やレスキュー方法等について基本的な安全講座を開催。



- ・PFD(ライフジャケット)を装着し川流れ
- ・川の流れを読む・中洲での救助方法
- ・スローロープでの救助方法
- ・危険予知トレーニング



親子体験(幼児～小学生やスポ少団体:下打波)

最近では近づくことが少なくなった川での体験活動。
真夏の日の水の冷たさや心地よさを親子で体験。



- ・森と川のつながりを湧水で理解
- ・伏流水の不思議
- ・共生(サンショウウオ)の理解
- ・川の生き物探検
- ・共生(サンショウウオを通して)の理解
- ・PFDを装着しての川流れ
- ・渓流下り登り
- ・民家でのカマド炊きやお風呂沸かし
- ・親子でのコミュニケーション

地域連携(農林樂舎・大野市環境塾)

昨年までのアグリマイスターは、今年より農林樂舎と協働でお米づくりとともに、地域の自然や人との関わり・体験をテーマに進めました。



- ・田植え～稲刈り～販売の体験
- ・旅塚川でのガサガサ体験&川流れ
- ・野菜定植と収穫
- ・地場産食材での料理体験
- ・親子でのコミュニケーション
- ・赤根川ガサガサ隊では、夏やすみに親子を対象に生き物調査を行った。

最近の新規事業として……

河川活動の支援(学校や児童クラブ:下打波・下山)
児童期には川遊びを推進しよう!を合言葉に、川の体験から多様な価値観や故郷を心身に残すべく個人や団体の活動を受け入れ。



- ・森と川の生き物探し
- ・清流での川遊び
- ・サンショウウオの生息環境の分析
- ・古民家での暮らし体験
- ・JRを利用した川遊びツアー
- ・生き物定点観測事業の実施

その他の活動～森(ハックルベリーの森)編～

自分たちの暮らす地域において「生命のつながり」をテーマに四季を通しての体験活動を支援。「故郷」を心と身体で体験し心に刻む。



- ・四季を通しての森林環境教育
- ・親子で過ごす森の時間～五感を使う～
- ・森の野生動物と人の暮らしのつながり探し
- ・幼稚園/保育園の自然体験活動の支援
- ・林床整備等の簡易な森林整備体験
- ・親子で過ごす森の時間～五感を使う～
- ・樹登りやツル登り
- ・幼稚園/保育園の自然体験活動の支援
- ・ピザやバームクーヘン等の野外料理体験
- ・野生動物のための生息地づくり

大人の休日シリーズ(下打波、六呂師)

豊かな自然との関わりが薄い若者世代を対象に、森/川/海/盆地等季節のフィールドを利用して実施しているOne Dayツアー。



- ・沢登りや飛び込み等の川遊び
- ・大人のためのドラム缶風呂
- ・ヨガや整体で心身を整える
- ・川でのシュノーケリング
- ・古民家暮らしの体験
- ・自転車を利用して地域資源を訪ねるポタリングツアー

来年度に向けて

- ・新幹線/中部縦貫自動車道の開通に向けての自然系アクティビティの充実
- ・夏休み期間にJRを利用して「川遊びに行こう!」キャンペーンの実施
- ・森遊び&森カフェの推進
- ・毎月一度のツリークライミング事業の実施

24. 水への恩返し Carrying Water Project



概要

水は、大野市にとって、歴史や文化、伝統を連綿と支えてきた貴重な財産です。その水に着目し、「水への感謝の思い」を「水への恩返し・Carrying Water Project」という行動として表すことで、市民は地域に「誇りと自信」を持ち、新たな産業基盤の創出や人材育成、地域製品の競争力強化を図り、まちの活性化を目指し、中長期的な人口減少対策として取り組む

人口減少対策への流れ

Carrying Water Project によって大野市が目指す長期的ビジョン

GOAL

① 定住・人口流入

② 産業創出・人材輩出

水に関わる環境産業誘致や施策実現による顧客創出・地域活性

③ 基盤整備

「水」を基幹とする産業創出や活性化施策実現に向けたブランドづくり、人材育成等

④ 市民意識（誇りと自信）醸成

目に見える活動から生まれる市民との対話と意識喚起 / 理解促進

⑤ 具体的な活動 Carrying Water Project

人口減少対策を目的として

大野市の重要資源であり

アイデンティティである

「水」にフォーカスし

市民や関係者に

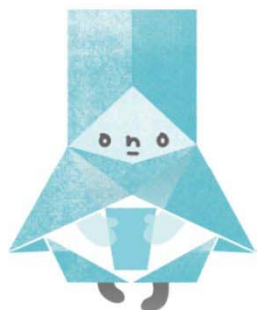
「水」に関する意識を高めてもらい

一致団結・協力・共創しながら

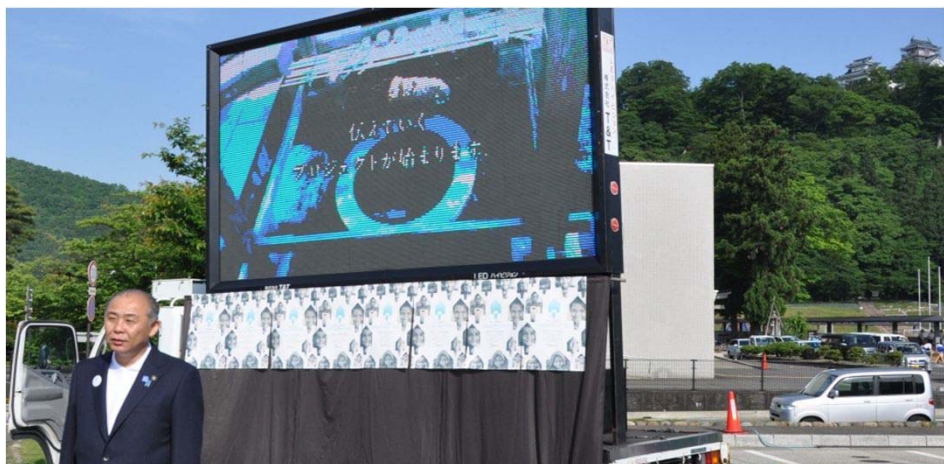
ゆくゆくは水関連産業誘致 / 育成による

雇用創出や

地域活性化を目指す



CWP活動



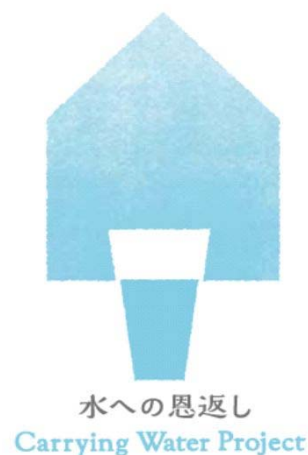
名水マラソンでCWP開始を宣言
平成27年5月24日



水で未来を拓くまち タウンミーティング
平成28年1月14日



日本ユニセフ協会とパートナーシップ締結
平成28年1月26日



平成29年1月～
安全な水源の確保に苦しむ国
東ティモール民主共和国
へ支援開始

イベントでのPR活動



ミラノ万博×CWP
平成27年10月24日～27日



越前おおの冬物語×CWP募金活動
平成28年2月6日～7日

一般財団法人水への恩返し財団設立

設立日 平成28年1月4日

代表理事 岡田高大

目的 大野市民の水への感謝の思いを醸成し、大野市の恵まれた水環境を後世に残し、国内外の人々に発信するとともに、世界の安全な水が供給されていない地域を支援する

事業

- (1) 水環境の保全と改善に寄与する事業
- (2) 水への感謝の思いを醸成する事業
- (3) 安全な水が供給されていない地域を支援する事業



水の精“みずのめぐみん”の誕生

平成28年度の活動について

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンについて

真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョンでは、『森林』、『水』、『交流』の3つの柱のもとに、水源地域活性化のための様々な活動が実施されている。

〔基本理念：真名川ダム〕

「奥越の山々に抱かれた名水のまち
大野の水のランドデザインを目指して」

〔基本理念：九頭竜ダム〕

「美しい水・森・心と出会ういやしの里づくり」

〔ビジョンの施策〕

< 森林 >

森林の保全・育成
森林資源の活用

水源林の保全
林業ボランティア
雑木林（里山）の活用
木工・ログハウス工房づくり
自然体験の拠点づくり

< 水 >

健全な水環境整備
水環境の啓発
利水運用の工夫

水路網や清水の復元
水を生かした公園づくり
地下水位のモニタリング
水文化や愛護活動
親和性の高い水生生物の保全
家庭排水対策
農業用水管理との連携
河川の維持流量等の確保の研究
地下水位保全を図る貯水池運用の研究

< 交流 >

人材・組織の育成
水辺環境の活用
広域交流の促進

市民参加活動の拡充
将来を担う人づくり
水源地域のファンづくり
カヌー体験ゾーン形成
フィッシングゾーン形成
親水エリアのネットワーク
湖畔めぐりルートづくり
中島公園等の充実
水辺の利用のルールづくり
ブランドイメージづくり
地域間交流の促進
情報ネットワークづくり
河川一斉清掃活動の実施
植樹の実施

紺色字は平成27年度の活動

活動における課題(ビジョンのさらなる推進に向けて)

これまでの活動を踏まえた今後の取り組みの方向性

【広報】 水源地域の担っている社会的な役割や重要性の理解、防災意識向上のため、過去の災害情報を含めた広報の継続実施
ホームページ等による水源地域情報の発信

【連携】 上下流交流による住民間の「つながり・きづな」意識の醸成
子供たちを対象とした次世代教育等による連携の強化、ネットワークの形成
地域住民や民間団体、関係機関との連携強化による活動の活性化

ビジョンの推進に向けて～平成28年度の取り組み(案)～

【広報】

水源地域の役割に関する情報発信

水源地域の役割や重要性に関する情報の発信
奥越豪雨・福井豪雨災害の紹介等防災意識の啓発

広報手段の改善

ホームページ(構成委員)の充実と改善、関係機関ホームページとの相互協力、パネル展等の開催

【連携】

上下流交流の促進

子供たちを対象とした体験型イベントにより水源地域に関心を持ってもらい、将来の水源地域サポーター、リピーターを育成

水源地域、周辺地域との連携

地域住民・NPOとの協力体制の強化、河川協力団体の連携促進、上下流連携の促進、九頭竜ダム50周年・真名川ダム40周年記念事業に向けた準備

H28.1に真名川ダム、九頭竜ダム流域の河川協力団体に、奥越漁業協同組合、大野市漁業協同組合が新たに加わり、NPO 法人ドラゴンリバー交流会を含めて3団体となった。

平成28年度の活動予定

平成28年度は、水源地域ビジョンに位置付けている各種取り組みの継続を図るとともに、構成委員間の連携の促進や、大野市が進める“越前おおのブランド戦略”によるイメージアップや中心市街地活性化プログラムによる地域間交流の促進、災害の記憶を風化させず『人命を守る』ための住民の防災意識の啓発・自助・共助について考えるなど、新たな活動の導入により、ビジョンの更なる推進を図っていく。

1. 森と湖に親しむ旬間行事
2. 九頭竜新緑まつり・紅葉まつり
3. もりみずカップ少年サッカー大会
4. 『水源地の森づくり』植樹会
5. 越前おおのエコフィールド
6. 越前おおの湧水文化再生計画
7. NPO法人九頭竜自然楽校
8. 真名川水辺の楽校ビオフレンズ
9. 真名川ダム弾力的運用管理
10. ダム湖の自然環境保全の取り組み
11. 流木の有効活用
12. もりみずアートフェスティバル
13. ダム湖周辺の紅葉情報提供
14. ダムカードの配布とダムマニアとの連携
15. 真名川ダムのダム内部見学
16. 九頭竜ダム展示室
17. ノーム自然環境教育事務所
18. カヌーを使った水辺の安全教室
19. 化石発掘体験
20. パネル展
21. 日帰り里山留学
22. 水への恩返し Carrying Water Project
23. 記念事業の準備

平成27年度より新規実施

平成28年度の活動予定

平成28年3月23日に、河川協力団体3団体による協議を実施した。今後、各団体の活動の連携も視野に入れた取組みを展開していく予定である。

九頭竜川クリーンアップ作戦(NPO法人ドラゴンリバー交流会の活動)

活動概要

「清流、九頭竜」は古来より地域の人々の生活に多方面にわたって深く関わってきたが、昨今、徐々に疎遠になった部分が多く見られるようになってきた。

そこで、流域のみんなが九頭竜川の魅力を再発見すること、さらに安心して集える美しい川を目指し、その第1弾として「九頭竜川クリーンアップ作戦」を開催している。

【開催日】 平成27年4月19日(日)

【清掃場所】 永平寺松岡町上合月九頭竜川河川敷から森田地区まで25キロ

【協催】 永平寺町、福井市、森田公民館、中藤島公民館、九頭竜川中部漁業協同組合

【協力】 国土交通省 福井県

【参加人数】 680名

平成28年度の活動予定

【開催日】 平成28年5月22日(日)

【作業時間】 8:00~10:00

【清掃場所】 九頭竜川中流域

(永平寺町中島地域~福井市と坂井市の一部)

【協力団体】 国土交通省、福井県、福井市、流域の公民館 企業 団体等に要請(予定)

【協賛】 永平寺町、九頭竜川中部漁業協同組合、森田公民館、中藤島公民館



真名川ダム・九頭竜ダム記念事業について

真名川ダム・九頭竜ダム記念事業のスケジュール等

平成30年には九頭竜ダム管理開始50年、翌年の平成31年は真名川ダム管理開始40年を連続して迎える。これらの節目を活かした記念事業を展開し、更なるビジョンの推進を図る。

事業スケジュール・推進体制(案)

全体事業スケジュール(案)

ダム名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
九頭竜ダム	<ul style="list-style-type: none"> ・推進組織の発足 ・事業計画案の作成 	プレイベント	50年記念イベント	
真名川ダム			プレイベント	40年記念イベント
その他		プレ福井しあわせ元気国体	福井しあわせ元気国体	

平成28年度の事業スケジュールと推進体制(案)

4月	7月	10月	1月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ・推進組織の発足 ・スケジュールの作成 ・広報計画(今期用) ・ロゴマーク公募 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の検討 ・役割分担の検討 ・ロゴマーク決定 →広報開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の検討 ・実施体制の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画案の策定 ・広報計画の作成 ・プレイベント企画の具体化 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会への報告

(仮称)真名川ダム・九頭竜ダム
記念事業実行部会

新規部会の設置
報告・承認

真名川ダム・九頭竜ダム
水源地域ビジョン推進委員会

(参考)天ヶ瀬ダム50周年記念事業の事例

50周年記念式典

- 式典、学術講演、公募による写真コンテストの表彰式、天ヶ瀬ダム建設時に作成された映画の上映等を実施

50周年記念ウォークツアー

- 天ヶ瀬ダム周辺の名所及び掘削工事中の地下トンネルや放流シーン等の見学ツアーを実施



写真コンテストの実施

- 天ヶ瀬ダムに関わる写真を公募し、優秀作品は記念式典での表彰、最優秀賞はダムカードの写真として使用

50周年記念植樹式

- 地元の中学校、森林ボランティア、その他関係機関により記念植樹を実施



50周年記念写真展

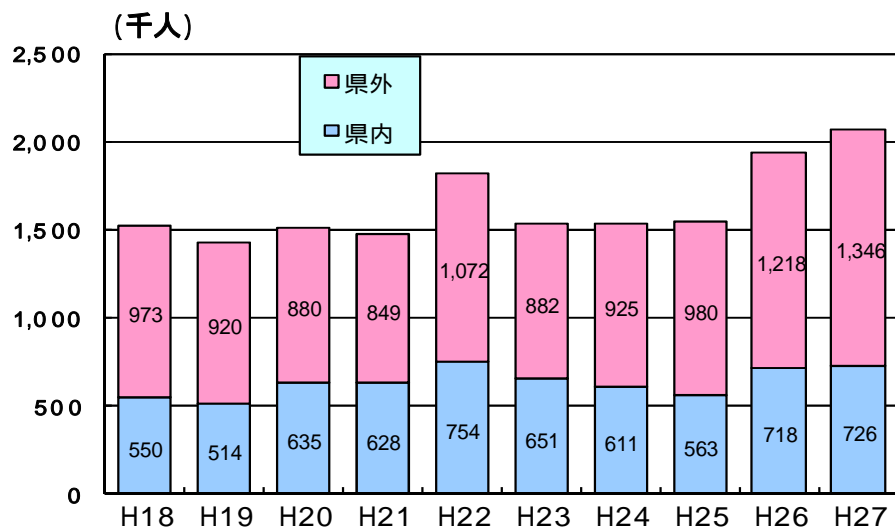
- 天ヶ瀬ダムを中心とした流域の変遷、これまでの洪水等の被災の記録、ダム建設中の記録写真等を展示



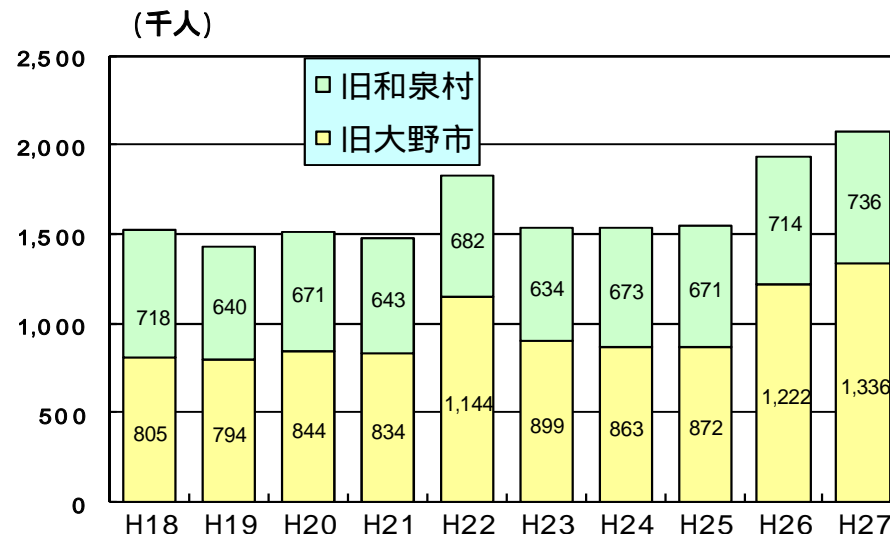
写真の出典：淀川ダム統合管理事務所ホームページ
(<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodoto/amagase50/kinenjigyo.html>)

【参考資料】 大野市の観光動向

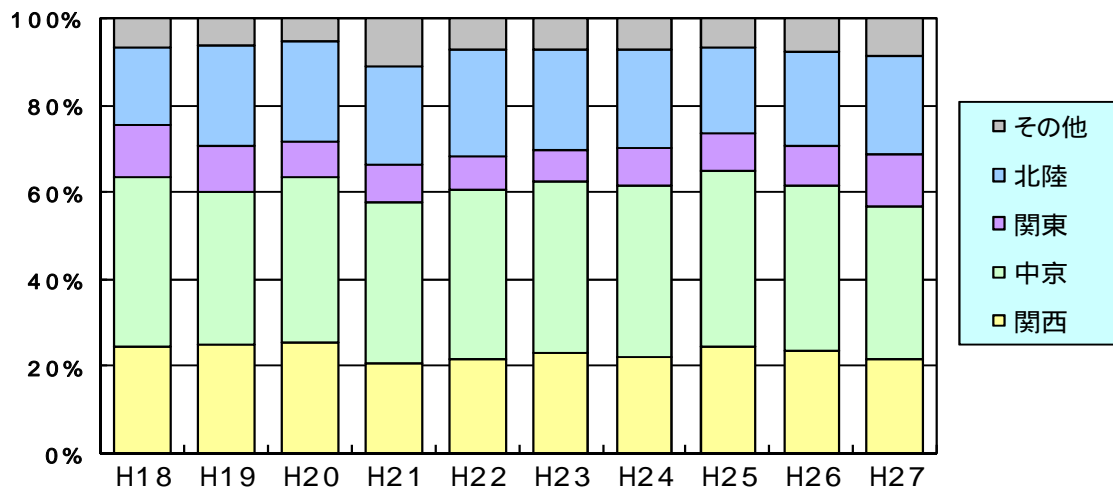
観光客数内訳 (県内・県外)



観光客数内訳 (旧大野市・旧和泉村)



県外観光客発地別内訳



大野市における観光客数は、平成18年以降横ばいとなっていたが、平成22年は越前大野城築城430年祭の実施効果により、平成26年は結の故郷発祥祭の実施効果により、それぞれ増加している。メディアを用いた宣伝効果等により**平成27年度の観光客数は207万2千人となった。**

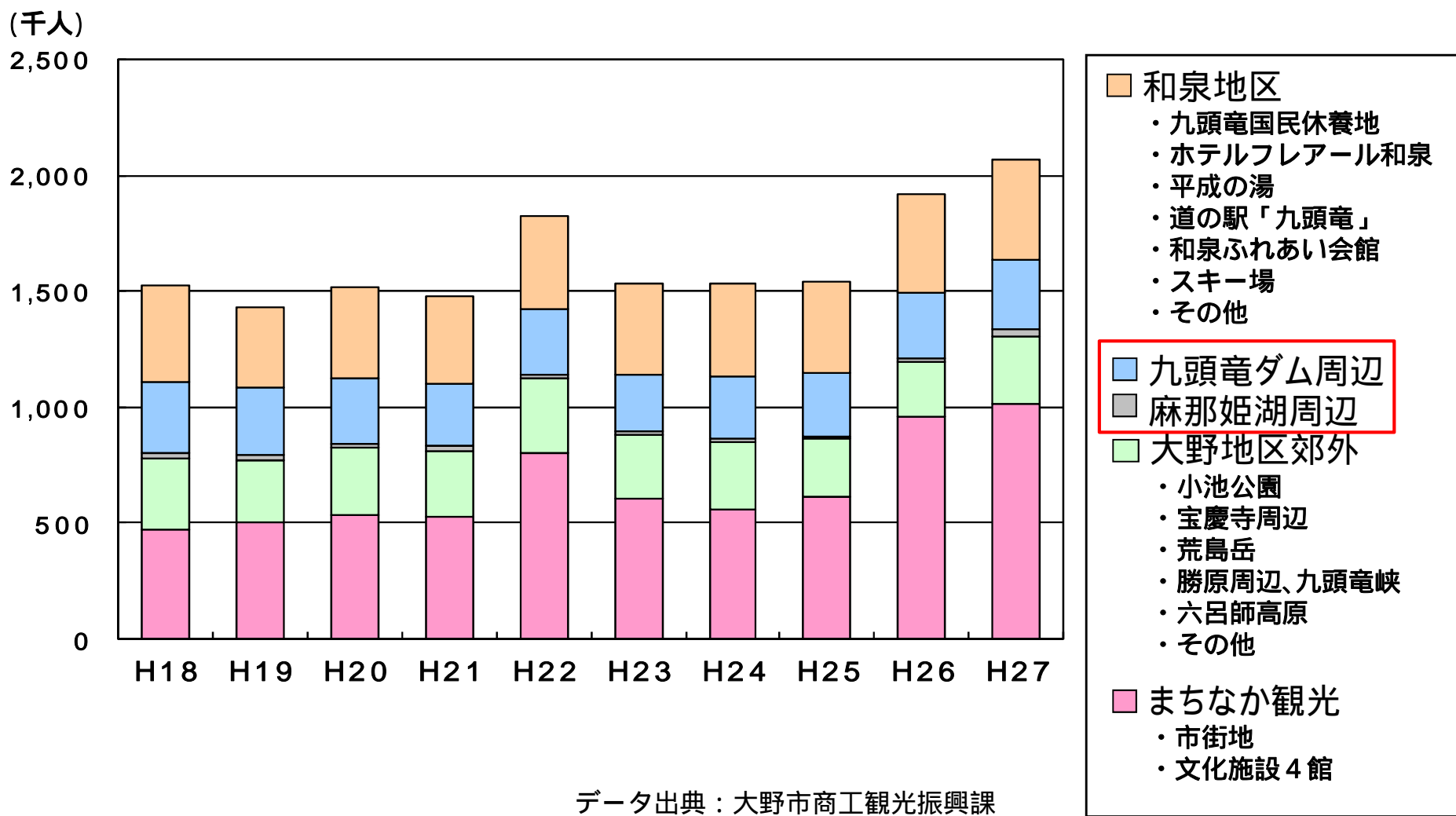
全体の6割強が県外からの観光客であり、県外客のうち中京方面からが約35%、関西方面と北陸方面からがそれぞれ約20%、関東方面からが約10%となっている。

データ出典：大野市商工観光振興課
H27については暫定値

【参考資料】 大野市における観光地としての真名川ダムと九頭竜ダム

大野市における主要観光地の観光客数

大野市の主要観光地の観光客数のうち、「九頭竜ダム周辺」の占める割合は15%程度、「麻那姫湖周辺」の占める割合は1%程度である。



データ出典：大野市商工観光振興課
H27については暫定値